大府市文化財調査報告書　第３集

愛知県大府市

円　通　寺　経　塚

～第二東海自動車道建設工事に伴う埋蔵文化財立会調査報告～

１９９７年

大府市教育委員会

大府市文化財調査報告書　第3集

愛知県大府市

円　通　寺　経　塚

～第二東海自動車道建設工事に伴う埋蔵文化財立会調査報告～

1997年

大府市教育委員会

円通寺経塚経碑

円通寺経塚遠景

円通寺経塚出土礫石経

序

大府市内ではこれまでに92か所におよぶ遺跡が確認されています。その大部分は知多地方の丘陵地に数多く存在した古窯跡です。

大府市は名古屋市の南に隣接した都市で、年々人口増加にともなう様々な開発事業が展開され、それに重なるように埋蔵文化財の発見も増えてきています。埋蔵文化財は歴史的にも文化的にも貴重な遺産で、それを後世に伝えていくことは我々の使命であると考えます。この遺跡は、市内でも珍しい仏教関係の遺跡で、道路建設工事中に発見に至りました。経塚遺跡は現在、2か所確認しており、他に2か所あったことが伝えられています。

円通寺経塚は、第二東海自動車道のルート上にあり、かつて円通寺の寺域に建立されたものですが、その存在はごく一部の人にのみ知られるに過ぎませんでした。はからずも高速道路建設工事により広く知られることになりましたが、工事最中ということもあり、本格的な発掘調査は果たせませんでした。けれども、可能な限りの調査と遺物採取につとめた結果、墨跡のある礫石を大量に採取するとともに、経碑については境内地への移築が実現しました。この立会調査によって得られた結果が、本市の歴史研究に役立つ資料となることを願って、ここに報告書を上梓するものです。

最後に、立会調査にご理解とご協力をたまわりました建設省中部地方建設局名四国道工事事務所、愛知県教育委員会文化財課、大府市都市開発部プロジェクト推進室、工事関係者および円通寺には、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

平成9年3月31日

大府市教育委員会

教育長　浅田　勇

例　言

1. 本書は、愛知県大府市共和町小仏地内に所在した円通寺経塚の立会調査の報告書である。
2. 立会調査は第二東海自動車道建設工事にともなって、大府市教育委員会生涯学習課歴史民俗資料館と愛知県教育委員会文化財課が実施した。
3. 調査期間は、平成６年11月４日に現場を立会い、同年11月17日から12月16日まで出土遺物の整理、平成８年７月24日から９月６日まで経碑の実測および拓本取り、平成８年７月16日から12月４日まで石の実測を実施した。
4. 調査に参加したのは、以下のとおりである。敬称略。

   磯谷和明（愛知県教育委員会文化財課教育主事、現豊田高等学校教諭）、近藤英正（半田市立博物館学芸員、大府市文化財研究員）、小川雅康（大府市歴史民俗資料館指導員）、古田功治（大府市歴史民俗資料館主事）、遠山光嗣　（新美南吉記念館学芸員）
5. 調査にあたっては、愛知県教育委員会文化財課の指導を得たほか、建設省名四国道事務所、大府市都市開発部プロジェクト推進室および円通寺のご協力を得た。
6. 調査記録および出土遺物の整理をはじめ本書に関わる遺物実測・トレース・拓本・写真を磯谷、小川、近藤、遠山および古田が担当した。遺物実測については愛知玉野情報システム株式会社に技術的助言をいただいた。
7. 本書の執筆および編集は近藤の助言を得て、古田が行った。
8. 報告書作成にあたって、下記の方々からご指導、ご教示を得た。敬称略。

   大島鈴男、中井良弘（円通寺住職）、吉村暁夫（大府市立大府中学校教諭）
   中野晴久（常滑市民俗資料館）
9. 調査記録は大府市歴史民俗資料館が、出土遺物等は円通寺が保管している。

目　次

第１章　調査概要

第１節　位置と地形 …… 2
第２節　歴史的環境 …… 3
第３節　調査の経緯 …… 6

第２章　遺構について

第１節　調査前の状況 …… １０
第２節　経碑とその周辺 …… １１
第３節　遺構について …… １７

第３章　遺物について

出土遺物について …… ２０

第４章　円通寺について

第１節　円通寺略史 …… ６０
第２節　円通寺関係僧侶等について …… ６２

第５章　小結

まとめ …… ７０

図版 …… ７２

挿図目次

第１図　遺跡位置図 ………………………………　2
第２図　大府市遺跡等分布図………………………　4
第３図　調査前地形図………………………………　7
第４図　円通寺境内図………………………………　7
第５図　天保十二年木之山村村絵図………………　10
第６図　円通寺経塚周辺略図 ……………………　12
第７図　円通寺経塚経碑実測図（第１面）………　13
第８図　円通寺経塚経碑陰刻文拓本（第１面）…　14
第９図　円通寺経塚経碑実測図（第２面）………　15
第10図　円通寺経塚経碑陰刻文拓本（第２面・第３面）‥　16
第11図　経碑跡略図 ………………………………　18
第12図　経塚遺構略図……………………………　18
第13図　円通寺経塚出土礫石経実測図(1)………　22
第14図　円通寺経塚出土礫石経実測図(2)………　23
第15図　円通寺経塚出土礫石経実測図(3)………　24
第16図　円通寺経塚出土礫石経実測図(4)………　25

表目次

第１表　大府市遺跡等名称表 ……………………　5
第２表　法的手続き ………………………………　6
第３表　円通寺経塚出土礫石観察表(1)…………　26
第４表　円通寺経塚出土礫石観察表(2)…………　27
第５表　円通寺経塚出土礫石観察表(3)…………　28
第６表　円通寺経塚出土礫石観察表(4)…………　29
第７表　円通寺経塚出土礫石観察表(5)…………　30
第８表　円通寺経塚出土礫石観察表(6)…………　31
第９表　円通寺経塚出土礫石観察表(7)…………　32
第10表　円通寺経塚出土礫石観察表(8)…………　33
第11表　円通寺経塚出土礫石観察表(9)…………　34
第12表　円通寺経塚出土礫石観察表(10)…………　35
第13表　円通寺経塚出土礫石観察表(11)…………　36
第14表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(1)…　37
第15表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(2)…　38
第16表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(3)…　39
第17表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(4)…　40
第18表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(5)…　41
第19表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(6)…　42
第20表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(7)……　43
第21表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(8)……　44
第22表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(9)……　45
第23表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(10)……　46
第24表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(11)……　47
第25表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(12)……　48
第26表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(13)……　49
第27表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(14)……　50
第28表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(15)……　51
第29表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(16)……　52
第30表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(17)……　53
第31表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(18)……　54
第32表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(19)……　55
第33表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(20)……　56
第34表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(21)……　57
第35表　円通寺歴代住職表 ……………………　62
第36表　円通寺文書記載関係僧侶等一覧表 …………　65
第37表　円通寺所蔵棟札記載関係僧侶等一覧表……　66
第38表　江戸期円通寺歴代住職系譜試案 ……………　68

図 版 目 次

図版１　遺跡(1)……… 72
図版２　遺跡(2)……… 73
図版３　経碑……… 74
図版４　経碑等……… 75
図版５　礫石経墨書(1)……… 76
図版６　礫石経墨書(2)……… 77
図版７　礫石経墨書(3)……… 78
図版８　礫石経墨書(4)……… 79
図版９　礫石経墨書(5)……… 80
図版10　礫石(1)……… 81
図版11　礫石(2)……… 82
図版12　礫石(3)……… 83
図版13　礫石(4)……… 84
図版14　礫石(5)……… 85
図版15　礫石(6)……… 86
図版16　礫石(7)……… 87
図版17　礫石(8)……… 88
図版18　礫石(9)……… 89
図版19　礫石(10)……… 90
図版20　礫石(11)……… 91
図版21　礫石(12)……… 92
図版22　礫石(13)……… 93
図版23　礫石(14)……… 94
図版24　礫石(15)……… 95

第1章　調　査　概　要

円通寺経塚遠景

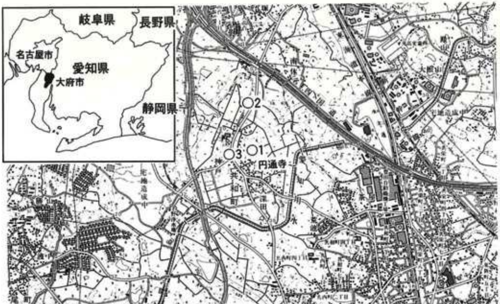
第1節　位置と地形

大府市は知多半島の基部に位置し、南西の端を頂点とする二等辺三角形の市域を形成する。面積は33.59㎢である。市域は主に丘陵地から成るが、中央部には丘陵地を二分する北西南東方向の低地があり、そこをＪＲ東海道線が通っている。東部は尾張丘陵と総称される名古屋市の東部の丘陵につながっている。西部は大府丘陵と呼ばれている。これらの丘陵は北東南西方向の標高を下げ、市域では丘陵の最も高いところで40～50ｍとなっている。このため大府丘陵の方がややなだらかな地形となっている。丘陵は常滑層群と呼ばれる地層からなり、礫層、砂層、シルト層から構成される。常滑累層は下部から上部にかけて構成粒子が大きくなり、上部層の表出している尾張丘陵では礫層が多く挟まるようになる。円通寺経塚は大府丘陵の北部末端に位置している。(1)

円通寺は、地理的には大府市の北西部の角で、名古屋市緑区に近接し、県道主要地方道大府東浦線沿いにあり、そこから50ｍ程東へ入った、旧木之山村の中に位置している。また、国道23号線の大高インターにも近く、交通の便に恵まれたところである。経塚はこの寺の寺域の一角にある竹林の中にあった。竹林は寺域の北側にあり、鬱蒼としていたが、第二東海自動車道のルートにかかり、その高速自動車道建設にともなう工事でこの経碑の存在が公となった。経碑の建立されていた場所は竹林で覆われた小高い丘のほぼ頂上に位置し、人工的に手を加たと思われる平らな場所である。しかし竹林であったことから、かなりの落葉の堆積がありその大きさははっきりしなかった。現在では高速自動車道建設にともなう土砂搬出で、法面へと変貌している。

註

(1)　『大府市誌』資料編　自然（大府市役所、３～18頁、１９８８年刊）。



第１図　遺跡位置図　　1：円通寺経塚　2：子安神社遺跡　3：円通寺古墓

第2節　歴史的環境

円通寺経塚は市の北西部で、名古屋市緑区に近接する場所に位置し、市庁舎やＪＲ大府駅のある市中心部から直線距離にして約4.5kmの場所である。市中心部からはかなり離れたところである。ここは前述したように大府丘陵の北部末端に位置するが、地形的には小高い丘の頂上の一角を占めている。

遺跡周辺には、400ｍ離れたところに子安神社があり、また日本武尊伝説との関係の深い氷上姉子神社にも近い。経塚周辺には２つの重要な遺跡があった。まず、弥生時代後期からの遺物を出土する子安神社遺跡[(1)]がある。ここは現在子安神社境内地で、小高い丘である。また、円通寺古墓[(2)]という江戸時代後期の墓跡遺跡がある。弥生時代集落跡、中世の窯業関係の遺跡と近世期の遺跡が周辺に存在しているが、古墳時代や古代の遺跡は現在発見されていない。ただし、円通寺には古墳から出土したといわれる横瓶[(3)]が伝来している。

大府市では現在までに88か所の遺跡を確認しているが、そのうち65か所が窯業関連の遺跡で、７割強に及んでいる。第２図の大府市遺跡等分布図にあるように、市内にはほぼ全域に古窯が散在しており、その中にあって、円通寺経塚のような仏教関連の遺跡が存在するのは希有な例と思われる。この他、市内には経塚が１か所知られている。それは東光寺経塚（共和町）で、経塚と思われるものがあったと伝承されるところが祖山寺（吉田町）、常福寺（吉田町）の２か所である。東光寺経塚は同寺の境内地の一角にあり、昭和51年に庫裏の増築工事中に発見され、礫に『法華経』の一字が墨書された、いわゆる一字一石経の経塚である。礫には年月日や筆者等年代を推定できる文字はない。しかし、湯飲み茶碗が１個出土しており、これが近世中期の瀬戸地方で焼かれたものという結果が得られている。つまり、江戸中期の経塚である[(4)]。他はいつごろの時代のもので、誰が建立したかなど、資料や記録に乏しく、はっきりとしたことが現時点ではわからない。ただ、祖山寺にはごく最近まで境内地に経碑があり、寺内と建物を整備したときに破壊され、その時に礫石が出土したという言い伝えが残っているのみである。

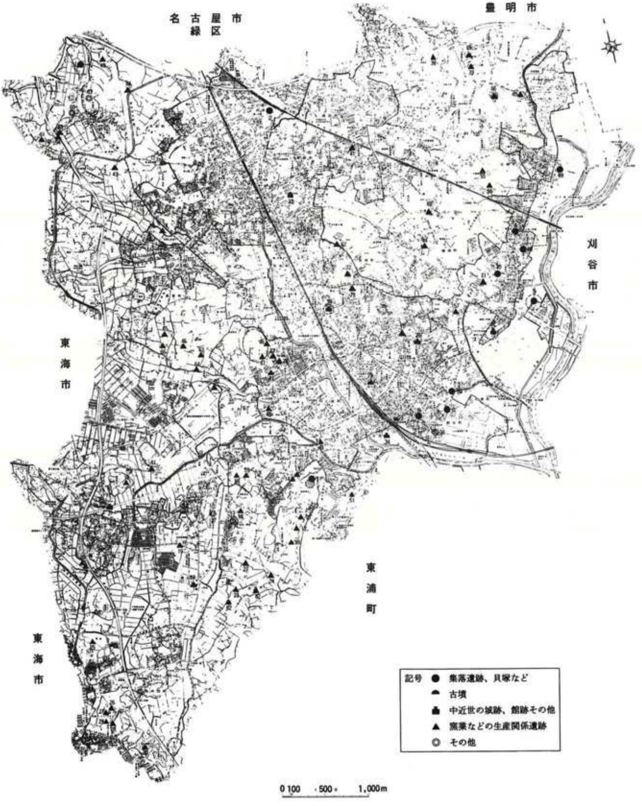
註

(1)　加藤岩蔵・福岡猛志ほか『子安神社遺跡』（大府市教育委員会、１９８４年刊）。その後、『大府市誌』資料編　考古（大府市役所、１９９１年刊）に再掲された。

(2)　松田訓「円通寺古墓」（『年報』平成７年度、財団法人愛知県埋蔵文化財センター、１２～１３頁、１９９６年刊）。

(3)　加藤岩蔵「市内出土と伝えられる考古資料」（『大府市誌』資料編　考古、大府市役所、１４０頁、１９９１年刊）。

(4)　加藤岩蔵「東光寺経塚」（『大府市誌』資料編　考古、大府市役所、６２～６６頁、１９９１年刊）。



第２図　大府市遺跡等分布図

1	子安神社遺跡	34	石ケ瀬古戦場跡	67	深廻間Ｂ古窯
2	共栄遺跡	35	大清水遺跡	68	西浜田遺跡
3	東光寺経塚	36	おしも井戸跡	69	二ツ池東古窯
4	賢聖院貝塚	37	芦沢井戸跡	70	藤井宮御酒瓶子出土地
5	惣作遺跡	38	福池古窯	71	平子古窯
6	桟敷貝塚	39	大根古窯	72	鴨池北古窯
7	高山古墳	40	高根山古窯	73	鴨池東古窯
8	正官墳	41	梶田古窯	74	下北山古窯
9	南島貝塚	42	別岨古窯	75	川池西古窯
10	石丸遺跡	43	権兵衛池古窯	76	石亀土古窯
11	源吾遺跡	44	名高山古窯	77	柊山Ｂ古窯
12	野々宮古窯	45	立根Ａ古窯	78	柊山Ｃ古窯
13	森岡第１号窯	46	深廻間Ａ古窯	79	雨兼池西古墳
14	森岡第２号窯	47	柊山Ａ古窯	80	山口古窯
15	北向古窯	48	石ケ瀬古窯	81	大高山古窯
16	旧中部病院第１号窯	49	江端古窯	82	籠染第３号窯
17	旧中部病院第２号窯	50	延命寺貝塚	83	円通寺経塚　☆
18	旧中部病院第３号窯	51	割木Ａ古窯	84	大廻間古窯
19	ハンヤ古窯	52	東端古窯	85	みどり公園古窯
20	吉田第１号窯	53	才田Ａ古窯	86	高根山西古窯
21	吉田第２号窯	54	才田Ｂ古窯	87	口無池西古窯
22	律粉古窯	55	山手Ａ古窯	88	北崎大池北古窯
23	籠染第１号窯	56	山手Ｂ古窯		
24	籠染第２号窯	57	羽根山古窯	A	祖山寺
25	大日古窯	58	神明古窯	B	常福寺
26	外輪第１号窯	59	海陸庵古窯		
27	外輪第２号窯	60	円通寺古墓		
28	外輪第３号窯	61	上入道古窯		
29	外輪第４号窯	62	長根山古窯		
30	骨田末古窯	63	立根Ｂ古窯		
31	吉川城跡	64	立根Ｃ古窯		
32	横根城跡	65	立根Ｄ古窯		
33	追分城跡	66	立根Ｅ古窯		

第１表　大府市遺跡等名称表　　※平成８年11月31日現在

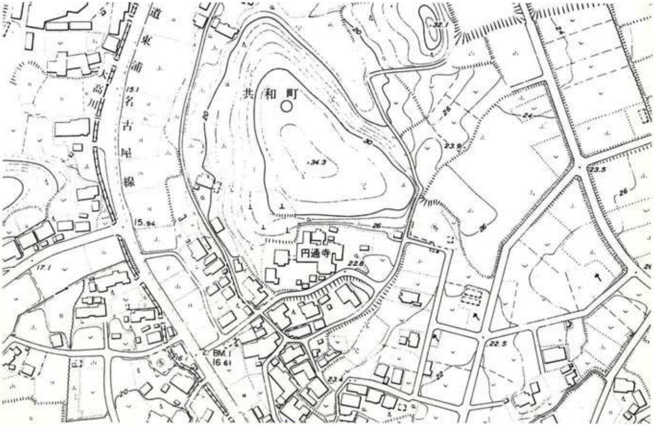
第3節　調査の経緯

第二東海自動車道のルートにおける遺跡の所在の確認時には、経塚の存在は知られていなかったが、雑木・竹林の伐採後、予定地上に経碑があるとの連絡があってから、現地を訪れたのは平成6年9月14日である。この時は、まだ工事に間があるため、写真撮影、経碑の法量測定や周辺の踏査を実施して遺跡の有無を確認をした。しかし、遺跡の所在を感じさせる遺物等は発見できなかったため、工事の際には立会うことを告げて、現場を後にした。

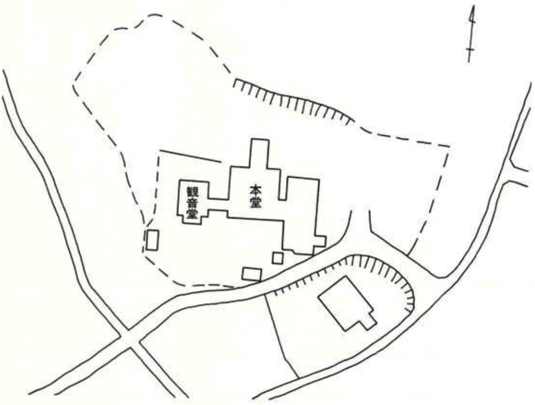
ここが工事に入ると連絡をうけて、実際に工事を開始したのは平成6年11月4日であった。県文化財課の担当者と現地を訪れた。すでに伐採後の樹木の根を取り除く抜根作業が始められていた。なお、経碑は円通寺に移築された後であった。まず、移築後の経碑跡を調査した。経碑跡を丹念に観察したが、遺物らしいものはほとんど確認できなかった。何かを埋めたと思われる円柱状の穴が確認できたのみである。そのまま工事を進めた結果、経碑跡周辺に工事の手が達した。その時、経碑より約50cm離れた場所から大量に拳大の石が顔を見せた。もしやと思い石を取り上げみてみると、墨で書かれた文字がはっきりと見えた。そのためいったん工事を中止して、石を取り上げることに専念した。石を拾い上げることはできたが、経碑跡および周辺は破壊された後だったので、本格的な発掘調査には移行できなかった。なお、石は拾えるだけ採取し、円通寺に保管してもらうこととした。石に墨書跡があることから平成6年11月16日から洗浄を開始し、すべての石について、法量測定や墨書確認と判読、写真撮影等の調査を実施した。

区　分	市教育委員会	県教育委員会	文化庁
文化財保護法 第57条の6 遺跡発見届	大教生発第117号 平成7年3月18日	7教文第66-3号 平成7年3月31日	

第2表　法的手続き



第３図　調査前地形図



第４図　円通寺境内図

第2章　遺構について

調査風景

第1節　調査前の状況

円通寺経塚は工事前は鬱蒼とした竹林の中にひっそりと経碑が立つだけで、訪れる人もなかった。これが、工事にともなう伐採で人前に姿を現すこととなった。ここは天保12年（1842）の円通寺を含んだ木之山村絵図に描かれたように、江戸時代末期には、こんもりとした山として表現されるだけで、経碑があったことは表記されていない。すでに、天保12年の時には人知れぬ存在となってしまっていたものと判断される。この他に、建立時の状況がわかる絵画資料等は存在しないので、この経塚の位置づけはわからない。

経碑の存在については、前述のとおり、寺関係者や郷土史家など一部の人々には知られていた。昭和51年に刊行された『大府市の石造物』[1]には般若塔として写真と解説が掲載されている。しかし、その約10年後に出版された同様の報告書[2]にはこの経碑に関する記述はなかった。

以上のように、長く森の中の人の目に触れない場所にあったためか、ごく一部の人のみが知る遺跡遺構であったと言えよう。

註

(1)　『大府市の石造物』（大府市教育委員会、２４頁、１９７６年刊）。

(2)　『大府市の石造文化財』（大府市教育委員会、１９８７年刊）。

(3)　『大府市誌』近世村絵図集（大府市役所、１９８２年刊）。

第５図　天保十二年木之山村村絵図　　　徳川林政史研究所蔵[3]

第2節　経碑とその周辺

円通寺経塚は、標高31mの岡の頂上付近に位置していた。遺跡の付近は人工的に造られたと思われる１辺の長さ約3.5mの正方形の平坦面であった。この平坦面に経碑と供養行事に使用したと思われる家型の厨子が地表面に露出していた。これらは、工事開始後円通寺境内へ移設された。

家型をした厨子は、蝋燭や供物をそなえたものと思われ、最大の箇所で計測すると、縦39.8cm、横49.7cm、高さ45.8cmで、黒くて中が灰色をした瓦と同様の焼き物である。

経塚経碑は、花崗岩で石英を多く含んでいて、黒雲母の少ないタイプである。全体に風化が多少進行しているためか、白ぽさを感じさせる。原産地については現時点では不明である。１個の花崗岩から造り出したものではなく、４個の石を積み上げたものである。上から順に、笠・塔身・基礎・基壇で、四角形である。全体の大きさは、移設以前に地表から測定した時には、縦110cm、横42cm（最大値で、傘の部分）であった。笠は高さ24cm、横40cmで宝珠が付つき、四隅が競り上がっている。塔身は長方形で縦70cm、横23cm、第１面に唐破風状の彫り込みがあり、その面を含めて刻文が３面にわたって存在する。基礎は長方形で、第１面からみて縦16cm、横38.5cm、奥行き38.5cmである。基壇は長方形の６枚の板状の石で形成され、全体で53.5cmの正方形であった。なお、基壇は移設時に除去された。

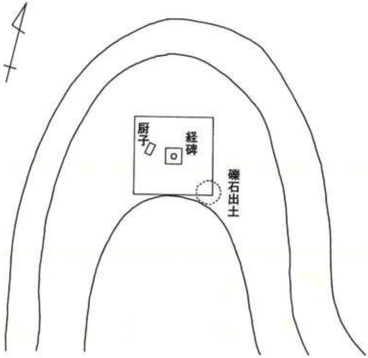
この経碑には、前述のように塔身に刻文がある。まずこの刻文を紹介すると第８図と第10図のとおりである。経碑は、観音堂の北方に位置し、第１面は西向きであった。第１面には「天地長久、武運長榮、聖壽萬安、萬人快樂、奉轉讀大般若經六百巻供養塔」「観音開帳之間、百日百座修之」とある。また次面（第１面に向かって右側＝第２面）には「尾𠮛智多郡木野山村瑞木山円通禅寺」と、もう一面（第１面に向かって左側＝第３面）には「維旼享保五庚子天五月初三日、現住雲山欽誌」とある。つまり、享保５年（1720）５月３日に転読の修法が終了した大般若経６００巻の供養と同時に開帳していた観音像の閉帳とを記念して現住雲山が建立したものである。経碑の刻文中にある「観音開帳」に関連して、当時の棟札が現存している[(1)]。内容は享保５年１月23日に大般若経の転読が始まり、同時に馬頭観音像を開帳したとある。この棟札には経碑に名前のある人物と同じ雲山の名が記されている。享保５年に大般若経の転読が円通寺の行事として施行されるとともに、それを守護することを願って馬頭観音像が開帳されたのである。この期間は１月23日から５月３日の100日間であった。

ここで問題となるのが、「雲山」なる人物である。刻文には「現住雲山」とある。「現住」には二つの意味があり、一つは現在そこに居住すること、もう一つは寺の現在の住職ということである。寺に関係する記録ということから考えると、住職ということになろう。「雲山」の考察については、第４章に譲ることにする。なお、経碑の刻文の内容を記録した古記録が円通寺に伝えられていることを付記しておく[(2)]。

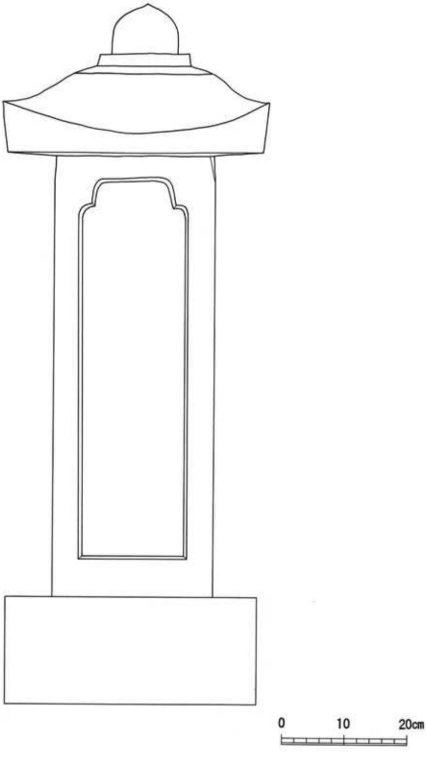
註

(1)　「十六、棟札」（『大府市誌』資料編　宗教、大府市役所　１９８９年刊）に67号棟札として収録。

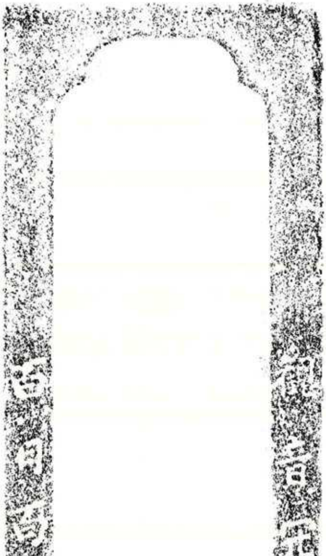
(2)　『瑞木山円通寺文書』。これは『大府市誌』編纂時に集めた古文書・古記録の写真版で、円通寺に保管されている。



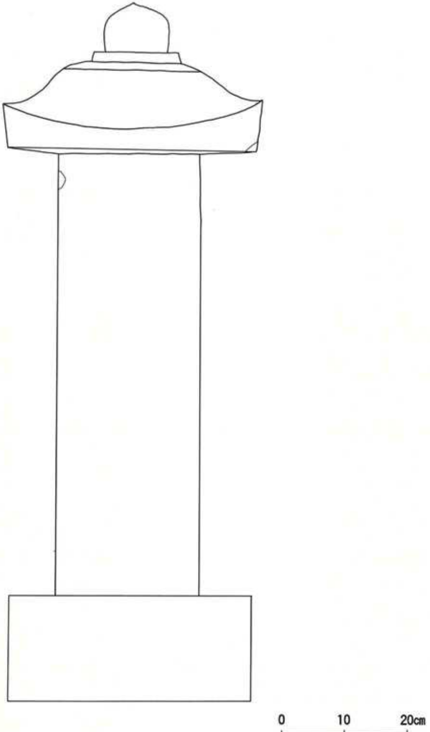
第６図　円通寺経塚周辺略図



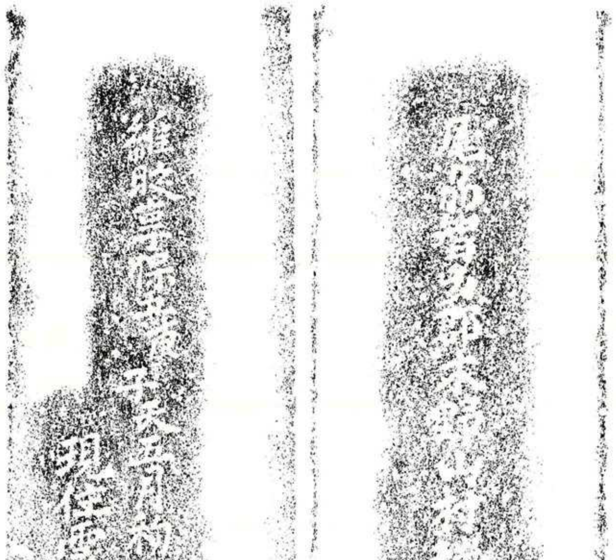
第７図　円通寺経塚経碑実測図（第１面）



第８図　円通寺経塚経碑陰刻文拓本（第１面）



第９図　円通寺経塚経碑実測図（第２面）



第10図　円通寺経塚経碑陰刻文拓本（第２面・第３面）

第3節　遺構について

経碑は、礫石発見時には円通寺の方に移設された後であった。遺構と呼べる痕跡は、経碑を建立した土壇、経碑の跡、礫石の埋納場所である。このうち、経碑を建立した土壇は、詳細な調査をしていないので、簡単な記録しかないことをあらかじめ断っておく。

経碑を建立した土壇

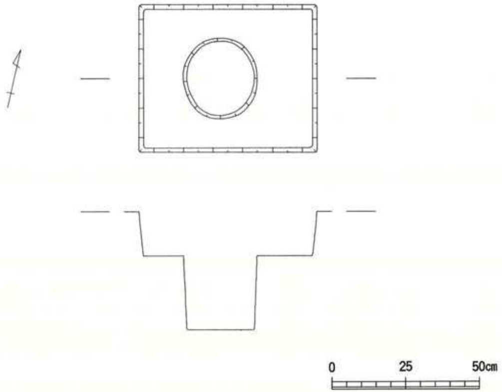
立地場所は、岡のほぼ頂上で、土壇部分にはかなりの枯れ葉等の堆積物が表面を覆っていたためはっきりしなかったが、一片が約3.5mの正方形で法面付きの土壇であったと思われる。土質等の記録はないが、部分的に見たところでは、粘質の砂層で、砂利等はほとんど混っていなかった。

経碑跡

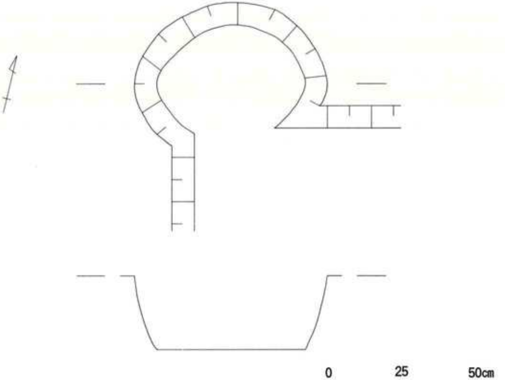
経碑跡は、基壇部分が地中に幾分埋まっていた関係上、すでに地表面より約5㎝ほど下がっていた。その部分の堆積物等を簡単に除去し、遺構を検出をしたところ縦50㎝、横60㎝、深さ約15㎝の長方形の窪みとなり、そのほぼ中心部に深さ25㎝の楕円形の穴が確認された。埋土は黄褐色系と黒褐色系の土が混じり合った締まりのない土で、なにか埋納されていたのではないかと想定されるものであった。しかし、常滑焼の甕片が一点出土しただけで、他に何も発見できなかった。

礫石の埋納場所

礫石は、抜根作業中に発見されたもので、樹木の根に多くの石がからみついていることでその存在がわかった。位置は経碑から東へ約70㎝いったところで、経碑との距離はほとんどないと言える場所である。ここは土壇の角にあたる部分である。礫石は表土から約15～20㎝のところで出土し、図版2のような状態で埋納されていた。埋納部分は楕円形の穴で、径は約60㎝、深さは25㎝を計測した。礫石は一か所にまとめて埋められていた。出土した礫石は割れたり、欠けたりしたものを含めて579個を採取した。ここが経塚の本体である。



第11図　経碑跡略図



第12図　経塚遺構略図

第3章　遺物について

遺物出土状態

出土遺物について

出土遺物は、礫石と土器片のみであった。前者の礫石はすべて、経塚から出土した。採取できた点数は579個であった。すべてについて軽く水をかけて土を落とし、固体識別をするためにナンバーリングの作業を実施した。

礫石（挿図　第13～16図、観察表及び一覧表　第３～34表）

法量として、縦・横・厚さを測定し、墨書の有無と現存墨書面の面数を調べ、そのうち墨書の有るものについては判読を実施した。これらの結果は第３表から第13表の「円通寺経塚出土礫観察表」としてまとめておいた。また、個々に墨書の認められるもののうちで重要なものだけについて、実測図を作成した。さらに、墨書の内容は、第14表から第34表の「円通寺経塚出土礫墨書判読一覧表」を参照していただきたい。なお、法量測定の基準は墨書が１面のみあるものはその面を、また２面以上のものは「大般若波羅蜜多経」と書かれた面を基準とし、墨書の確認できなかったものは、ナンバーリングした面を基準にして測定した。

礫石の法量は、平均値で縦7.25cm、横4.69cm、厚さ3.14cmを測定し、全体として拳大の石がほとんどであった。石に特徴的なことは見受けられないが、川原で採取できるような丸い石はない。また、その種類は専門家に鑑定してもらったところチャートと呼ばれる石英質の堆積岩であることが確認できた。

墨書については、579個の礫石のうち、378個（65.3％）に何らかの墨書または墨跡が認められた。墨書の状態は、長年の地中にあったため、その保存状態は極めて悪く、すべての文字を判読できる礫石はなく、その一部を判読できるか、なんらかの文字が記されていたと確認できるのみのものがほとんどである。また、残りの201個には墨書の確認はできなかったが、「大般若経」に関する経塚であること、加えて遺物番号21に「巻六百」という記述があるので、この礫石経は、600個から成立していたことは間違いないであろう。とすれば、採取できた579個のすべてになんらかの文字が書写されていたと推測される。墨書の書写面数は、石個々の条件と筆者の癖等により規則性はないと判断されるが、１面ないし２面にわたって書写されたものが約９割以上あった。

墨書内容は、判読不可のものが多く、この結果から結論を導くのは、多少危険をともなうが、強いて言えば、一つのパターンがあるように推察される。例えば、遺物番号１は「□□□波羅蜜多巻　第十」、14は「大□□□□蜜多□□経　四百七十六」、24は「五百九、享保五庚子年、□□□波羅蜜多経、（後略）」と言うように、「大般若波羅蜜多経」と「巻何々」という組み合わせが認められる。また一覧表を参照すると、何らかの文字が読み取れる礫石にも、「大般若波羅蜜多経」や巻数以外の文字は、遺物番号21・24・36・209の４個を除く他は、判読できなかった。そのことから、大部分の礫石には「大般若波羅蜜多経」と「巻何々」を共通項目としていたことは疑いのないところであろう。

この他、注目すべき記述が存在する。それは遺物番号21・24・36・209の４個である。以下に内容を紹介する。

21　「巻第六百　□丁　享保五天庚子五月三日　匚　コ　匚　コ」

24　「五百九　享保五庚子年、□□□波羅蜜多経　[　]」

36　「第□　五月三日□□□　□□」

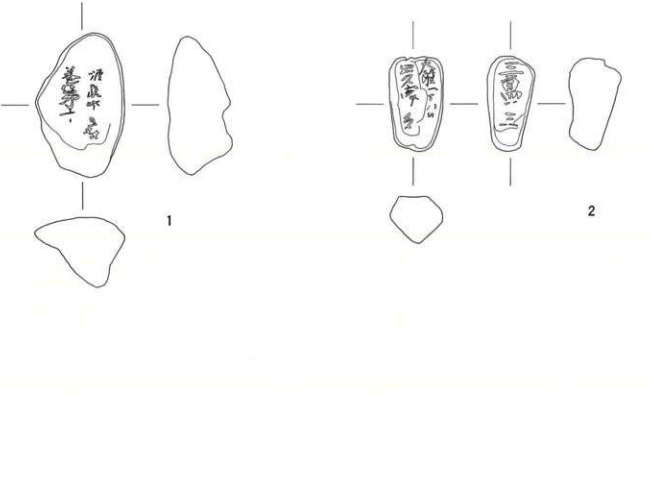
209　「[　]　□□□十六　五月三日送」

これらには、紀年と月日が書かれている。21・24にある「享保五」は碑文の刻文と同一年号であり、21の「享保五天庚子五月三日」は碑文の刻文および大般若経転読の法要の際に執り行われた円通寺の馬頭観音開帳棟札とも関連している。

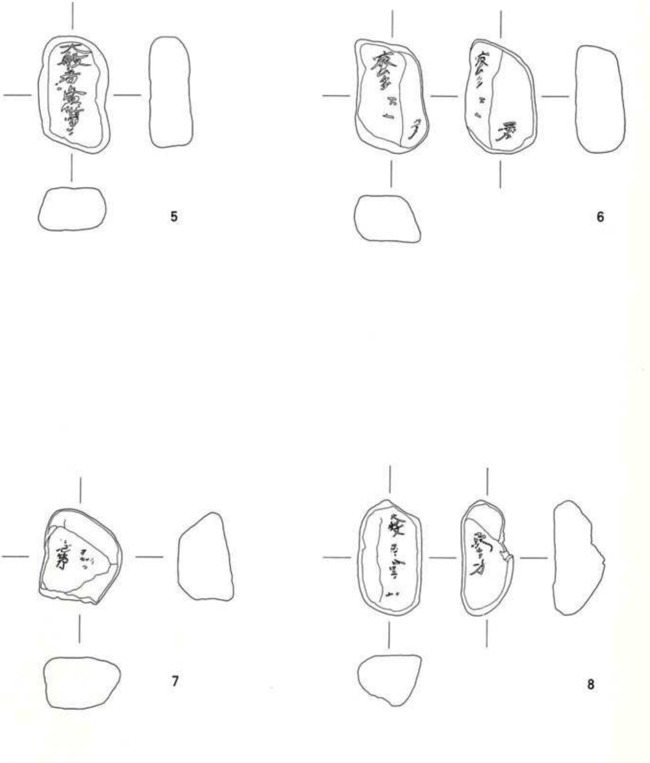
以上の結果から、この礫石は大般若経転読にともない、その六百巻の供養のために礫石１個を「大般若波羅蜜多心経」の巻物一巻として見立て、それに経典名と巻数を書写し、経碑建立と同時か極めて近い時期に埋納されたと推定される。

甕片

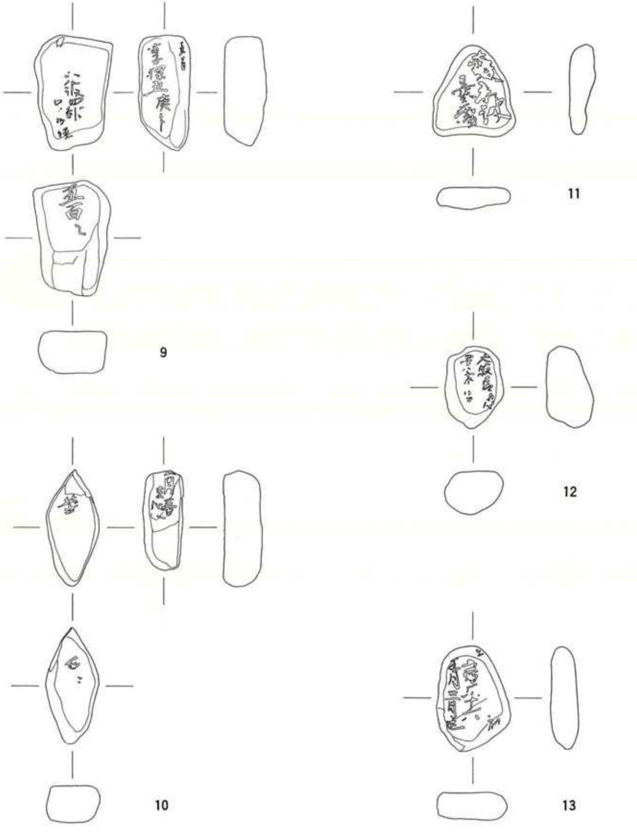
経碑の直下から１点出土した。体部と考えられる部分の破片で、近世常滑焼の甕と思われる。実測図等は省略した。



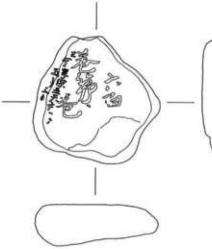
第13図　円通寺経塚出土礫石経実測図(1)



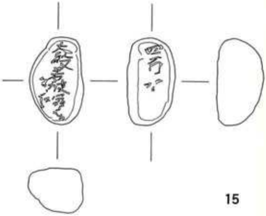
第14図　円通寺経塚出土礫石経実測図(2)



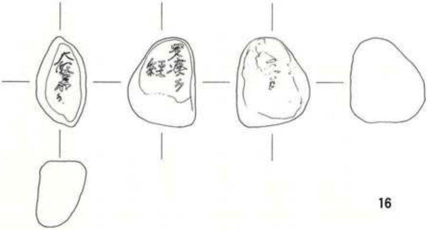
第15図　円通寺経塚出土礫石経実測図(3)



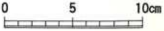
14



15



16



第16図　円通寺経塚出土礫石経実測図(4)

遺物番号	挿図番号	図版番号	法量（cm）			墨書の有無	現存墨書面数	石の種類	備考
			たて	よこ	厚さ				
1	13-1	5-1 10-1	10.64	6.58	4.08	有	1	チャート	
2		10-1	5.74	3.76	3.44	有	1	チャート	
3		10-1	5.66	4.32	3.52	有	1	チャート	
4		10-1	7.10	6.48	3.82	有	1	チャート	
5		10-1	6.97	3.42	2.84	有	1	チャート	
6		10-1	8.15	4.68	3.99	有	1	チャート	
7		10-1	9.78	4.43	5.03	有	1	チャート	
8	13-3	5-2 10-1	8.29	3.64	2.90	有	1	チャート	
9		10-1	8.03	3.66	3.48	有	1	チャート	
1 0		10-1	7.30	5.20	4.56	有	2	チャート	
1 1	13-4	5-3･4 10-1	5.65	7.20	5.28	有	2	チャート	
1 2		10-1	6.86	3.22	2.65	有	2	チャート	
1 3		10-1	5.76	3.78	2.58	有	1	チャート	
1 4		10-1	6.82	5.34	2.62	有	2	チャート	石が割れている
1 5		10-1	7.90	5.92	3.72	有	1	チャート	
1 6		10-1	6.28	4.00	2.45	有	2	チャート	
1 7		10-1	7.92	4.92	2.01	有	2	チャート	
1 8		10-1	9.26	6.26	3.92	有	2	チャート	
1 9		10-1	5.92	3.74	3.03	有	1	チャート	
2 0		10-1	7.00	4.23	2.81	有	2	チャート	
2 1	16-14	5-5 10-2	9.58	9.00	2.75	有	1	チャート	
2 2		10-2	8.42	5.20	2.05	有	1	チャート	
2 3		10-2	8.95	5.41	3.05	有	1	チャート	
2 4	15-9	6-1・2・3・4 10-2	8.30	4.98	3.18	有	4	チャート	
2 5		10-2	5.70	5.31	3.00	有	3	チャート	
2 6		10-2	7.84	3.89	2.59	有	1	チャート	
2 7	16-15	7-1･2･3 10-2	6.49	4.22	3.08	有	3	チャート	
2 8		10-2	6.50	5.00	2.98	有	1	チャート	
2 9		10-2	5.99	2.64	1.69	有	2	チャート	
3 0		10-2	6.11	3.50	2.42	有	1	チャート	
3 1	13-2	6-5･6 10-2	6.79	3.45	3.16	有	2	チャート	
3 2		10-2	7.20	4.44	3.39	有	1	チャート	
3 3		10-2	7.14	5.02	3.49	有	2	チャート	
3 4		10-2	11.71	4.35	3.59	有	1	チャート	
3 5		10-2	7.15	4.79	2.65	有	1	チャート	
3 6	15-10	7-4･5･6 10-2	8.51	4.00	2.85	有	3	チャート	
3 7	14-5	5-6 10-2	8.80	4.95	3.05	有	1	チャート	
3 8	14-6	8-1･2 10-2	8.01	5.45	3.44	有	1	チャート	
3 9		10-2	8.02	5.31	2.22	有	2	チャート	
4 0		10-2	8.00	3.90	3.01	有	1	チャート	
4 1		11-1	6.92	3.11	2.01	有	1	チャート	
4 2		11-1	5.48	4.81	4.68	無	0	チャート	
4 3		11-1	5.95	4.16	3.49	有	1	チャート	
4 4		11-1	5.13	3.42	2.05	有	1	チャート	石が割れている
4 5		11-1	7.76	4.39	2.41	有	1	チャート	
4 6		11-1	6.06	4.70	3.52	有	1	チャート	石が割れている
4 7		11-1	8.20	5.01	3.11	有	1	チャート	
4 8		11-1	6.73	5.45	2.60	有	1	チャート	
4 9		11-1	9.15	3.62	2.45	有	1	チャート	
5 0		11-1	8.54	4.62	2.60	有	1	チャート	
5 1		11-1	7.10	5.12	2.74	有	1	チャート	
5 2		11-1	6.95	3.81	2.72	有	1	チャート	
5 3		11-1	8.10	5.58	3.40	有	1	チャート	
5 4		11-1	7.30	3.80	1.54	有	1	チャート	
5 5		11-1	6.10	5.26	3.11	有	1	チャート	

第3表　円通寺経塚出土礫石観察表(1)　　法量はすべて最大値で、墨書面を基準とし、ない時はナンバーリング面を基準に計測

遺物番号	挿図番号	図版番号	法量（cm）			墨書の有無	現存墨書面数	石の種類	備考
			たて	よこ	厚さ				
56		11-1	8.00	6.54	3.98	有	1	チャート	
57		11-1	6.80	4.72	2.47	有	3	チャート	
58		11-1	5.54	4.10	3.51	有	1	チャート	
59		11-1	9.31	3.90	3.48	有	1	チャート	
60		11-1	7.31	5.99	3.28	有	1	チャート	
61		11-2	8.40	4.64	3.28	有	1	チャート	
62		11-2	7.35	4.88	4.08	有	1	チャート	
63		11-2	7.44	4.07	2.78	有	1	チャート	
64		11-2	7.58	4.50	3.40	有	4	チャート	
65		11-2	6.79	4.24	3.43	有	1	チャート	
66		11-2	6.64	5.00	2.96	有	1	チャート	
67		11-2	6.15	5.05	3.25	有	2	チャート	
68		11-2	10.78	4.60	3.01	無	0	チャート	
69		11-2	9.40	5.64	4.12	有	2	チャート	
70		11-2	8.42	4.52	2.33	有	2	チャート	
71		11-2	6.01	5.88	3.86	有	1	チャート	
72		11-2	6.55	6.02	3.20	無	0	チャート	
73		11-2	6.90	4.69	1.80	有	1	チャート	
74		11-2	6.95	4.20	2.83	無	0	チャート	
75		11-2	5.75	3.25	1.60	無	0	チャート	
76		11-2	8.44	4.50	2.32	有	2	チャート	
77		11-2	8.40	4.34	2.88	有	1	チャート	
78		11-2	7.19	5.02	2.50	有	1	チャート	
79		11-2	7.10	5.11	2.99	有	2	チャート	
80		11-2	8.52	5.80	3.26	有	1	チャート	
81		12-1	6.93	5.45	2.40	無	0	チャート	
82		12-1	6.23	4.00	2.75	有	1	チャート	
83	14-7	8-3　12-1	6.65	5.53	3.90	有	1	チャート	
84		12-1	5.70	4.78	3.40	有	2	チャート	
85		12-1	7.36	4.44	2.23	有	2	チャート	
86		12-1	6.51	5.10	3.38	有	1	チャート	
87	14-8	8-4・5　12-1	8.32	4.53	3.59	有	2	チャート	
88		12-1	7.51	4.53	2.90	有	2	チャート	
89		12-1	8.50	4.10	2.66	有	2	チャート	
90		12-1	8.20	6.46	4.20	有	2	チャート	
91		12-1	7.40	4.33	1.50	有	2	チャート	
92		12-1	7.00	4.54	1.92	有	1	チャート	
93		12-1	8.94	5.44	2.00	有	2	チャート	
94		12-1	7.78	5.89	3.52	有	1	チャート	
95		12-1	6.06	3.80	3.32	有	2	チャート	
96		12-1	7.40	3.69	3.21	有	1	チャート	
97		12-1	6.96	4.63	4.39	有	1	チャート	
98		12-1	6.96	3.23	2.62	有	3	チャート	
99		12-1	6.64	5.59	4.54	有	1	チャート	
100		12-1	5.33	3.82	2.99	有	2	チャート	
101		12-2	6.00	4.48	2.30	有	1	チャート	
102		12-2	9.10	4.36	4.20	有	1	チャート	
103		12-2	6.86	3.70	3.12	有	1	チャート	
104		12-2	8.12	5.60	3.17	有	1	チャート	
105		12-2	10.70	4.24	3.50	有	1	チャート	
106		12-2	8.32	4.35	2.24	有	1	チャート	
107		12-2	9.10	5.26	2.49	有	1	チャート	
108		12-2	8.52	6.02	3.32	有	1	チャート	
109		12-2	6.28	5.20	3.00	有	1	チャート	
110		12-2	4.68	4.30	2.95	有	2	チャート	

第4表　円通寺経塚出土礫石観察表(2)　　法量はすべて最大値で、墨書面を基準とし、ない時はナンバーリング面を基準に計測

遺物番号	挿図番号	図版番号	法量（cm）			墨書の有無	現存墨書面数	石の種類	備考
			たて	よこ	厚さ				
111		12-2	10.54	6.46	2.10	有	1	チャート	
112		12-2	8.81	4.92	2.96	有	2	チャート	
113		12-2	10.92	6.85	3.48	有	2	チャート	
114		12-2	6.96	5.10	2.49	有	1	チャート	
115		12-2	7.49	5.21	2.68	有	2	チャート	
116		12-2	8.88	5.71	4.56	有	2	チャート	
117		12-2	6.16	3.40	2.79	有	2	チャート	
118		12-2	8.15	4.18	3.54	有	2	チャート	
119		12-2	7.12	4.72	2.40	有	1	チャート	
120		12-2	9.72	5.06	2.33	無	0	チャート	
121		13-1	6.20	3.95	3.49	有	1	チャート	
122		13-1	8.67	4.50	2.34	有	2	チャート	
123		13-1	8.84	3.78	3.50	有	1	チャート	
124		13-1	6.10	3.15	2.05	有	1	チャート	
125		13-1	5.64	4.34	3.08	有	1	チャート	石が割れている
126		13-1	7.36	4.00	2.26	有	2	チャート	
127		13-1	6.04	3.31	2.70	有	1	チャート	
128		13-1	7.44	3.54	2.92	有	3	チャート	
129		13-1	6.41	3.70	3.10	有	1	チャート	
130		13-1	8.16	3.72	3.10	有	1	チャート	
131		13-1	7.28	4.17	3.89	有	1	チャート	
132		13-1	8.71	5.10	3.24	有	1	チャート	
133		13-1	11.62	5.80	3.84	有	1	チャート	
134		13-1	8.46	5.43	4.49	有	1	チャート	2つに破れている
135		13-1	6.01	4.95	3.60	有	1	チャート	
136		13-1	7.01	4.05	3.15	有	3	チャート	
137		13-1	6.55	4.06	3.24	有	2	チャート	
138		13-1	8.50	6.44	2.94	有	1	チャート	
139		13-1	8.26	3.99	2.64	有	1	チャート	
140		13-1	6.78	4.18	2.64	有	1	チャート	
141		13-2	6.79	6.30	3.10	有	1	チャート	
142		13-2	8.76	4.89	3.79	無	0	チャート	
143		13-2	7.71	5.08	3.28	有	1	チャート	
144		13-2	6.72	4.95	3.74	有	2	チャート	
145		13-2	6.36	4.29	2.80	有	1	チャート	
146		13-2	5.72	4.43	2.46	有	2	チャート	
147		13-2	7.16	5.35	2.99	有	1	チャート	
148		13-2	8.12	4.94	1.82	有	1	チャート	
149		13-2	8.40	5.40	4.18	有	1	チャート	
150		13-2	8.00	4.54	3.30	有	1	チャート	
151		13-2	5.26	3.00	1.54	有	1	チャート	割れている
152		13-2	7.89	5.70	4.12	有	1	チャート	
153		13-2	9.52	5.32	4.56	有	2	チャート	
154		13-2	7.72	3.48	2.80	有	1	チャート	
155		13-2	6.30	5.20	2.14	有	1	チャート	
156		13-2	7.79	5.02	2.94	有	1	チャート	
157		13-2	9.14	4.55	1.98	無	0	チャート	
158		13-2	8.31	5.50	4.90	有	1	チャート	
159		13-2	7.64	4.18	4.00	有	1	チャート	
160		13-2	8.78	8.15	4.80	有	2	チャート	
161		14-1	7.04	3.68	2.50	有	1	チャート	
162		14-1	8.02	5.52	3.16	有	1	チャート	
163		14-1	9.42	5.24	4.30	有	1	チャート	
164		14-1	7.12	4.00	1.51	有	2	チャート	
165		14-1	6.94	5.90	3.50	有	1	チャート	

第5表　円通寺経塚出土礫石観察表(3)　　法量はすべて最大値で、墨書面を基準とし、ない時はナンバーリング面を基準に計測

遺物番号	挿図番号	図版番号	法量（cm）			墨書の有無	現存墨書面数	石の種類	備　考
			たて	よこ	厚さ				
166		14-1	7.09	5.09	2.34	有	2	チャート	
167		14-1	8.08	6.45	3.36	有	2	チャート	
168		14-1	8.42	5.70	2.75	有	1	チャート	
169		14-1	5.88	3.80	3.00	有	1	チャート	
170		14-1	8.14	5.85	2.30	有	1	チャート	
171		14-1	7.80	5.34	2.89	有	1	チャート	
172		14-1	7.85	5.30	4.23	無	0	チャート	
173		14-1	7.90	5.78	3.64	有	2	チャート	
174		14-1	10.32	6.08	3.22	有	1	チャート	
175		14-1	6.58	5.99	4.90	有	1	チャート	
176		14-1	6.16	3.90	2.42	有	2	チャート	
177		14-1	8.26	5.38	3.08	有	1	チャート	
178		14-1	7.34	4.32	3.40	有	1	チャート	
179		14-1	6.80	4.65	2.88	有	1	チャート	
180		14-1	6.80	5.91	4.12	有	2	チャート	
181		14-2	8.78	3.80	3.96	有	2	チャート	
182		14-2	5.74	3.54	3.24	有	1	チャート	
183		14-2	9.16	4.68	3.11	有	1	チャート	
184		14-2	6.49	4.96	3.66	有	1	チャート	
185		14-2	7.12	3.70	3.34	有	1	チャート	
186		14-2	5.71	4.34	3.40	有	1	チャート	
187		14-2	10.08	5.64	4.41	有	1	チャート	
188		14-2	8.24	5.65	4.53	無	0	チャート	
189		14-2	7.64	4.04	2.75	有	1	チャート	
190		14-2	7.20	4.42	3.50	無	0	チャート	
191		14-2	6.30	4.65	1.72	有	2	チャート	
192		14-2	7.02	4.39	3.75	有	2	チャート	
193		14-2	7.86	5.24	2.20	有	1	チャート	
194		14-2	8.08	4.10	3.50	有	2	チャート	
195	15-11	8-6　14-2	6.60	5.50	1.65	有	1	チャート	
196		14-2	6.48	3.55	4.80	有	1	チャート	
197		14-2	7.10	4.83	2.51	有	2	チャート	
198		14-2	12.74	5.29	2.60	有	1	チャート	
199		14-2	8.00	6.68	4.84	有	1	チャート	
200	15-12	9-1　14-2	6.06	4.48	3.05	有	1	チャート	
201		15-1	6.12	4.94	3.82	有	1	チャート	
202		15-1	7.30	5.50	2.76	有	2	チャート	
203		15-1	5.08	4.41	3.25	有	1	チャート	
204		15-1	7.81	6.00	3.98	有	2	チャート	
205		15-1	8.74	3.80	2.50	有	2	チャート	
206		15-1	7.42	5.74	3.94	有	2	チャート	
207		15-1	6.70	5.55	3.90	有	2	チャート	
208		15-1	7.80	3.50	2.50	有	1	チャート	
209	15-13	9-2　15-1	7.18	5.25	2.00	有	1	チャート	「5月3日送」
210		15-1	8.01	6.40	2.78	有	1	チャート	
211		15-1	6.85	5.30	4.40	無	0	チャート	
212		15-1	7.96	4.24	3.22	有	1	チャート	
213		15-1	7.22	4.70	2.13	有	1	チャート	
214		15-1	9.41	5.00	4.40	有	1	チャート	
215		15-1	8.78	7.01	3.66	有	1	チャート	
216		15-1	5.48	5.18	3.83	無	0	チャート	
217		15-1	7.66	6.00	3.47	有	2	チャート	
218		15-1	5.22	5.74	2.89	有	1	チャート	
219		15-1	7.62	5.31	3.14	有	2	チャート	
220		15-1	10.50	5.89	3.04	有	1	チャート	

第6表　円通寺経塚出土礫石観察表(4)　　法量はすべて最大値で、墨書面を基準とし、ない時はナンバーリング面を基準に計測

遺物番号	挿図番号	図版番号	法量（cm）			墨書の有無	現存墨書面数	石の種類	備考
			たて	よこ	厚さ				
221		15-2	7.12	5.24	3.69	有	1	チャート	
222		15-2	8.85	3.61	2.56	有	1	チャート	
223		15-2	6.42	4.80	5.30	有	1	チャート	
224		15-2	8.54	3.70	3.80	無	0	チャート	
225		15-2	6.70	5.55	4.56	有	1	チャート	
226		15-2	8.22	6.34	4.60	有	1	チャート	
227		15-2	6.02	4.88	2.94	有	3	チャート	
228	16-16	9-3·4·5　15-2	6.32	5.35	3.41	有	3	チャート	
229		15-2	5.64	5.29	1.50	有	1	チャート	
230		15-2	6.94	2.65	2.98	有	2	チャート	
231		15-2	6.89	4.86	3.60	有	2	チャート	
232		15-2	7.24	5.45	2.56	無	0	チャート	
233		15-2	5.52	4.12	3.46	有	1	チャート	
234		15-2	8.16	5.84	2.69	有	1	チャート	
235		15-2	6.65	5.02	3.44	無	0	チャート	
236		15-2	5.89	4.90	2.77	有	1	チャート	
237		15-2	5.84	5.30	3.44	有	1	チャート	
238		15-2	6.50	5.58	2.71	有	1	チャート	
239		15-2	6.55	5.39	3.09	有	2	チャート	
240		15-2	8.19	4.36	2.84	有	2	チャート	
241		16-1	6.44	3.80	2.36	有	2	チャート	
242		16-1	4.74	3.22	2.10	有	1	チャート	
243		16-1	5.40	3.10	2.26	有	2	チャート	
244		16-1	7.50	4.70	3.19	有	2	チャート	
245		16-1	7.50	5.06	3.16	有	1	チャート	
246		16-1	5.09	2.92	1.40	有	1	チャート	
247		16-1	5.70	4.24	2.20	有	1	チャート	二つに割れている
248		16-1	7.81	4.53	3.60	有	1	チャート	
249		16-1	6.62	4.90	2.14	有	2	チャート	
250		16-1	6.64	5.82	2.98	有	1	チャート	
251		16-1	6.79	3.60	2.92	有	1	チャート	
252		16-1	6.18	3.62	2.36	有	1	チャート	
253		16-1	7.18	4.60	3.18	有	1	チャート	
254		16-1	4.80	4.44	3.78	有	1	チャート	
255		16-1	8.42	5.80	1.90	有	1	チャート	
256		16-1	7.20	5.16	1.52	有	2	チャート	
257		16-1	6.42	4.06	2.94	有	1	チャート	
258		16-1	5.80	4.10	2.80	有	3	チャート	
259		16-1	7.60	5.50	3.42	有	2	チャート	
260		16-1	7.36	4.84	2.90	有	1	チャート	
261		16-2	6.89	3.86	4.53	有	1	チャート	
262		16-2	7.70	6.76	3.03	有	1	チャート	
263		16-2	8.62	8.14	3.26	有	1	チャート	
264		16-2	7.66	5.51	3.04	有	2	チャート	
265		16-2	6.68	4.90	2.30	有	1	チャート	
266		16-2	6.78	5.30	3.38	有	2	チャート	
267		16-2	5.84	4.96	4.14	有	2	チャート	
268		16-2	6.84	4.78	5.50	有	1	チャート	
269		16-2	7.65	5.74	2.24	有	2	チャート	
270		16-2	8.78	4.44	3.35	有	2	チャート	
271		16-2	6.74	6.60	4.54	有	1	チャート	
272		16-2	6.78	4.98	5.62	有	3	チャート	
273		16-2	5.56	5.79	4.50	有	1	チャート	
274		16-2	8.93	5.22	5.20	有	1	チャート	
275		16-2	7.80	4.86	4.74	有	2	チャート	

第7表　円通寺経塚出土礫石観察表(5)　　法量はすべて最大値で、墨書面を基準とし、ない時はナンバーリング面を基準に計測

遺物番号	挿図番号	図版番号	法量（cm）			墨書の有無	現存墨書面数	石の種類	備考
			たて	よこ	厚さ				
276		16-2	5.57	5.12	3.70	有	1	チャート	
277		16-2	5.14	4.00	3.17	有	1	チャート	
278		16-2	8.54	3.80	3.36	有	1	チャート	
279		16-2	6.60	5.04	2,64	有	2	チャート	
280		16-2	6.88	5.95	2.26	有	1	チャート	
281		17-1	7.38	4.80	3.62	有	1	チャート	
282		17-1	10.13	4.93	3.62	有	1	チャート	
283		17-1	7.16	3.86	4.04	有	1	チャート	
284		17-1	7.80	4.78	3.80	有	1	チャート	
285		17-1	7.70	5.18	3.20	有	2	チャート	
286		17-1	8.79	3.76	3.44	有	1	チャート	
287		17-1	7.62	4.82	5.34	有	1	チャート	
288		17-1	5.04	5.36	2.56	有	2	チャート	
289		17-1	8.87	4.36	3.87	有	2	チャート	
290		17-1	8.84	5.20	3.50	有	2	チャート	
291		17-1	7.70	6.46	3.44	有	1	チャート	
292		17-1	6.50	4.72	2,96	有	1	チャート	
293		17-1	7.13	3.84	4.38	有	1	チャート	
294		17-1	8.12	3.63	4.14	有	2	チャート	
295		17-1	6.90	3.78	1.64	有	4	チャート	
296		17-1	5,94	5,64	2.32	有	1	チャート	
297		17-1	7.64	4.08	2.23	有	1	チャート	
298		17-1	6.96	3.84	2.40	有	1	チャート	
299		24-2	7.14	4.22	2.42	有	2	チャート	
300		17-1	6.10	3.14	2.90	有	1	チャート	
301		17-2	5.74	4.74	4.55	有	1	チャート	
302		17-2	8.76	5.25	4.44	有	1	チャート	
303		17-2	6.96	4.38	2.94	有	1	チャート	
304		17-2	6.06	5.00	4.05	有	1	チャート	
305		17-2	6.84	7.16	3.04	有	2	チャート	
306		17-2	8.86	4.95	4.15	有	1	チャート	
307		17-2	7.58	5.32	3.02	有	1	チャート	
308		17-2	10.1	4.61	4.60	有	2	チャート	
309		17-2	7.85	5.17	2.20	有	1	チャート	
310		17-2	7.29	5.75	3.03	有	2	チャート	
311		17-2	8.30	3.82	3.26	有	2	チャート	
312		17-2	6.66	3.82	2.16	有	1	チャート	
313		17-2	8.50	5.16	5.04	有	1	チャート	
314		17-2	6.61	4.68	2.76	有	2	チャート	
315		17-2	9.17	5.84	2.21	有	2	チャート	
316		17-2	6.32	5.77	2.53	有	2	チャート	
317		17-2	6.04	3.81	3.30	有	1	チャート	
318		17-2	7.82	4.09	1.95	有	2	チャート	
319		17-2	8.68	5.48	3.43	有	2	チャート	
320		17-2	7.10	5.24	2.50	有	2	チャート	
321		18-1	5.51	3.88	5.04	有	1	チャート	
322		18-1	9.69	4.70	3.55	有	2	チャート	
323		18-1	8.79	5.28	3.19	有	1	チャート	
324		18-1	6.34	3.39	2.18	有	1	チャート	
325		18-1	7.95	5.26	4.05	有	2	チャート	
326		18-1	6.72	4.88	2.50	有	2	チャート	
327		18-1	8.29	4.31	3.88	有	2	チャート	
328		18-1	7.34	3.78	2.98	有	1	チャート	
329		18-1	8.32	4.34	3.79	有	1	チャート	
330		18-1	8.25	5.04	3.03	有	1	チャート	

第8表　円通寺経塚出土礫石観察表(6)　　法量はすべて最大値で、墨書面を基準とし、ない時はナンバーリング面を基準に計測

遺物番号	挿図番号	図版番号	法量（cm）			墨書の有無	現存墨書面数	石の種類	備考
			たて	よこ	厚さ				
331		18-1	7.48	5.64	2.79	有	1	チャート	
332		18-1	6.73	3.94	1.94	有	1	チャート	
333		18-1	7.99	4.60	2.98	有	1	チャート	
334		18-1	6.62	4.53	3.03	有	2	チャート	
335		18-1	6.59	6.38	3.66	有	1	チャート	
336		18-1	7.64	3.08	3.44	有	2	チャート	
337		18-1	7.18	5.80	3.04	有	1	チャート	
338		18-1	7.05	3.46	2.17	有	1	チャート	
339		18-1	6.55	4.62	3.43	有	1	チャート	
340		18-1	6.94	5.48	2.89	有	1	チャート	
341		18-2	6.74	4.08	2.64	有	1	チャート	
342		18-2	6.46	4.57	3.21	有	1	チャート	
343		18-2	7.61	4.05	2.94	有	1	チャート	
344		18-2	7.22	5.00	3.51	有	1	チャート	
345		18-2	7.96	6.23	3.59	有	1	チャート	
346		18-2	5.90	4.59	2.94	有	1	チャート	
347		18-2	6.74	4.63	2.34	有	1	チャート	
348		18-2	6.36	3.81	3.15	有	1	チャート	
349		18-2	6.78	5.12	2.25	有	1	チャート	
350		18-2	7.81	4.80	2.88	有	1	チャート	
351		18-2	6.30	2.81	1.60	有	1	チャート	
352		18-2	6.83	3.66	2.21	有	1	チャート	
353		18-2	7.55	4.30	3.11	有	1	チャート	
354		18-2	7.04	3.78	2.40	有	1	チャート	
355		18-2	5.78	4.35	2.99	有	2	チャート	
356		18-2	7.26	4.72	2.40	有	1	チャート	
357		18-2	8.80	4.81	4.42	有	1	チャート	
358		18-2	7.60	5.48	2.97	有	2	チャート	
359		18-2	8.03	4.15	3.98	有	1	チャート	
360		18-2	7.76	3.00	3.26	有	2	チャート	
361		19-1	7.81	5.22	2.13	有	1	チャート	
362		19-1	6.22	4.85	3.86	有	1	チャート	
363		19-1	5.90	4.05	4.55	有	1	チャート	
364		19-1	6.89	4.71	2.54	無	0	チャート	
365		19-1	6.66	4.34	3.90	有	1	チャート	
366		19-1	6.61	4.48	2.93	有	1	チャート	
367		19-1	5.84	4.99	3.04	有	2	チャート	
368		24-3	7.38	5.26	2.97	有	1	チャート	
369		19-1	7.00	3.41	3.88	有	1	チャート	
370		19-1	8.20	4.06	3.34	有	1	チャート	
371		19-1	7.35	6.00	3.81	有	1	チャート	
372		19-1	6.74	5.52	4.00	有	1	チャート	
373		19-1	7.71	6.05	4.48	有	1	チャート	
374		19-1	7.52	5.40	4.14	有	2	チャート	
375		19-1	6.09	4.08	3.78	有	1	チャート	
376		19-1	6.40	5.14	4.69	有	1	チャート	
377		19-1	6.88	3.30	2.51	有	2	チャート	
378		19-1	7.89	4.15	3.14	有	1	チャート	
379		19-1	7.31	4.63	3.05	有	1	チャート	
380		19-1	7.29	4.89	2.36	有	1	チャート	
381		19-2	7.76	4.64	3.01	有	1	チャート	
382		19-2	9.68	4.24	3.10	有	1	チャート	
383		19-2	6.82	5.79	4.54	有	1	チャート	
384		19-2	8.18	4.71	3.42	有	1	チャート	
385		19-2	6.90	5.62	2.94	有	1	チャート	

第9表　円通寺経塚出土礫石観察表(7)　　法量はすべて最大値で、墨書面を基準とし、ない時はナンバーリング面を基準に計測

遺物番号	挿図番号	図版番号	法量（cm）			墨書の有無	現存墨書面数	石の種類	備考
			たて	よこ	厚さ				
386		19-2	7.76	4.45	2.79	有	1	チャート	二つに割れている
387		19-2	7.00	4.22	3.59	有	1	チャート	部分的に欠けている
388		19-2	5.63	3.74	2.50	有	1	チャート	部分的に欠けている
389		19-2	6.51	3.86	1.87	有	1	チャート	部分的に欠けている
390		19-2	7.42	7.24	4.70	無	0	チャート	
391		19-2	8.33	5.12	4.16	無	0	チャート	
392		19-2	7.83	5.55	3.00	無	0	チャート	
393		19-2	7.75	4.83	3.60	無	0	チャート	
394		19-2	7.44	4.94	2.41	無	0	チャート	
395		19-2	6.80	4.89	4.39	無	0	チャート	
396		19-2	10.71	4.36	3.90	無	0	チャート	
397		19-2	7.31	3.80	3.02	無	0	チャート	
398		19-2	8.42	4.04	2.81	無	0	チャート	
399		19-2	6.78	4.15	2.40	無	0	チャート	
400		19-2	7.80	5.11	2.56	無	0	チャート	
401		20-1	7,94	4.90	3.11	無	0	チャート	
402		20-1	6.58	4.24	3.60	無	0	チャート	
403		20-1	6.30	3.64	3.36	無	0	チャート	
404		20-1	7.68	3.81	2.85	無	0	チャート	
405		20-1	7.51	3.84	3.24	無	0	チャート	
406		20-1	10.44	4.40	4.70	無	0	チャート	
407		20-1	10.04	4.75	4.38	無	0	チャート	
408		20-1	7.20	4.06	3.82	無	0	チャート	
409		20-1	4.80	4.16	3.87	無	0	チャート	
410		20-1	5.01	4.10	3.31	無	0	チャート	
411		20-1	7.43	3.15	3.21	無	0	チャート	
412		20-1	9.12	6.06	4.06	無	0	チャート	
413		20-1	8.84	6.40	2.76	無	0	チャート	
414		20-1	7.10	3.11	2.10	無	0	チャート	
415		20-1	6.02	4.50	2.24	無	0	チャート	
416		20-1	8.77	5.90	2.28	無	0	チャート	
417		20-1	8.20	4.02	3.71	無	0	チャート	
418		20-1	7.88	3.00	2.95	無	0	チャート	
419		20-1	5.90	5.50	4.07	無	0	チャート	
420		20-1	7.91	5.41	2.91	無	0	チャート	
421		20-2	8.07	4.65	4.15	無	0	チャート	
422		20-2	6.90	4.81	2.41	無	0	チャート	
423		20-2	7.48	4.40	3.30	無	0	チャート	
424		20-2	5.90	4.73	3.93	無	0	チャート	
425		20-2	6.78	4.89	3.25	無	0	チャート	
426		20-2	6.40	3.61	2.98	無	0	チャート	
427		20-2	7.14	3.85	2.41	無	0	チャート	
428		20-2	7.46	4.31	1.80	有	1	チャート	
429		20-2	6.93	5.13	2.60	無	0	チャート	
430		20-2	6.95	3.63	3.05	無	0	チャート	
431		20-2	5.60	5.31	2.30	無	0	チャート	
432		20-2	5.91	4.98	2.32	無	0	チャート	
433		20-2	5.69	3.87	4.69	無	0	チャート	
434		20-2	7.50	5.00	3.06	無	0	チャート	
435		20-2	6.70	3.05	4.00	無	0	チャート	
436		20-2	7.79	4.20	3.49	無	0	チャート	
437		20-2	7.11	5.03	3.88	無	0	チャート	
438		20-2	6.79	4.89	1.83	無	0	チャート	二つに割れている
439		20-2	6.61	3.90	1.91	無	0	チャート	
440		20-2	7.21	5.85	3.80	無	0	チャート	

第10表　円通寺経塚出土礫石観察表(8)　　法量はすべて最大値で、墨書面を基準とし、ない時はナンバーリング面を基準に計測

遺物番号	挿図番号	図版番号	法量（cm）			墨書の有無	現存墨書面数	石の種類	備考
			たて	よこ	厚さ				
441		21-1	6.29	4.23	4.13	無	0	チャート	
442		21-1	10.30	4.29	3.80	無	0	チャート	
443		21-1	7.09	5.71	3.72	無	0	チャート	
444		21-1	8.42	4.50	2.81	有	1	チャート	
445		21-1	6.31	4.60	3.31	無	0	チャート	
446		21-1	5.28	3.51	2.80	無	0	チャート	
447		21-1	5.29	4.64	2.50	無	0	チャート	
448		21-1	8.33	6.00	2.55	無	0	チャート	
449		21-1	5.33	4.71	3.15	無	0	チャート	
450		21-1	6.14	4.86	2.89	無	0	チャート	
451		21-1	8.70	3.62	2.33	無	0	チャート	
452		21-1	7.70	4.76	4.09	無	0	チャート	
453		21-1	7.08	4.13	3.37	有	1	チャート	
454		21-1	10.04	4.55	3.62	無	0	チャート	
455		21-1	8.80	6.33	4.16	無	0	チャート	
456		21-1	7.56	5.58	4.09	無	0	チャート	
457		21-1	6.50	4.71	4.15	無	0	チャート	
458		21-1	4.63	3.33	2.22	無	0	チャート	
459		21-1	8.21	5.35	3.12	無	0	チャート	
460		21-1	6.41	3.35	2.47	無	0	チャート	
461		21-1	7.30	5.16	2.44	無	0	チャート	
462		21-2	8.16	4.14	3.04	無	0	チャート	
463		21-2	7.92	6.40	4.08	無	0	チャート	
464		21-2	6.83	6.05	3.61	無	0	チャート	
465		21-2	7.42	5.05	3.46	無	0	チャート	
466		21-2	8.66	7.21	2.56	無	0	チャート	
467		21-2	8.22	5.75	3.45	無	0	チャート	
468		21-2	8.85	3.66	1.90	有	1	チャート	
469		21-2	5.33	4.02	3.36	無	0	チャート	
470		21-2	6.51	5.90	2.99	無	0	チャート	
471		21-2	7.30	4.61	2.93	無	0	チャート	
472		21-2	6.51	2.90	2.49	無	0	チャート	
473		21-2	9.69	5.26	2.55	無	0	チャート	
474		21-2	6.66	5.70	3.78	無	0	チャート	
475		21-2	7.70	3.50	2.80	無	0	チャート	
476		21-2	7.01	4.30	3.61	無	0	チャート	
477		21-2	9.11	7.04	2.80	無	0	チャート	
478		21-2	6.09	5.15	2.46	無	0	チャート	
479		21-2	6.63	4.30	3.91	無	0	チャート	
480		21-2	7.48	4.85	3.80	無	0	チャート	
481		22-1	5.76	3.65	3.78	無	0	チャート	
482		22-1	7.11	3.90	2.24	無	0	チャート	
483		22-1	6.84	3.50	2.64	無	0	チャート	
484		22-1	6.27	5.21	3.91	無	0	チャート	
485		22-1	7.10	4.09	2.95	無	0	チャート	
486		22-1	7.93	4.55	2.42	無	0	チャート	
487		22-1	7.53	6.30	4.40	無	0	チャート	
488		22-1	10.34	5.13	3.07	無	0	チャート	
489		22-1	6.84	4.91	1.89	無	0	チャート	
490		22-1	7.21	5.27	4.19	無	0	チャート	
491		22-1	8.32	4.49	2.90	無	0	チャート	
492		22-1	8.63	4.66	3.98	無	0	チャート	
493		22-1	7.06	4.38	2.94	無	0	チャート	
494		22-1	6.96	4.25	3.23	無	0	チャート	
495		22-1	6.34	5.23	2.99	無	0	チャート	

第11表　円通寺経塚出土礫石観察表(9)　　法量はすべて最大値で、墨書面を基準とし、ない時はナンバーリング面を基準に計測

遺物番号	挿図番号	図版番号	法量（cm）			墨書の有無	現存墨書面数	石の種類	備考
			たて	よこ	厚さ				
496		22-1	6.43	5.50	3.10	無	0	チャート	
497		22-1	8.90	4.51	3.61	無	0	チャート	
498		22-1	7.51	5.28	2.54	無	0	チャート	
499		22-1	6.40	5.64	4.23	無	0	チャート	
500		22-1	6.73	4.48	3.32	無	0	チャート	
501		22-2	7.88	7.05	3.94	無	0	チャート	
502		22-2	7.65	4.80	3.59	無	0	チャート	
503		22-2	5.89	4.92	2.63	無	0	チャート	
504		22-2	5.65	3.95	2.45	無	0	チャート	
505		22-2	7.59	4.85	3.32	無	0	チャート	
506		22-2	9.90	5.20	2.66	無	0	チャート	
507		22-2	6.68	3.35	3.22	無	0	チャート	
508		22-2	6.91	5.81	3.84	有	1	チャート	
509		22-2	8.46	5.03	3.91	無	0	チャート	
510		22-2	7.15	4.55	3.74	無	0	チャート	
511		22-2	7.99	6.22	3.39	無	0	チャート	
512		22-2	8.00	4.56	3.20	無	0	チャート	
513		22-2	7.65	3.45	2.55	無	0	チャート	
514		22-2	7.08	3.59	2.88	無	0	チャート	
515		22-2	6.71	4.28	1.82	無	0	チャート	
516		22-2	6.82	4.21	1.71	無	0	チャート	
517		22-2	5.65	3.62	2.63	無	0	チャート	
518		22-2	8.16	6.29	3.14	有	1	チャート	
519		22-2	7.64	6.02	4.90	無	0	チャート	
520		22-2	7.44	5.46	3.19	無	0	チャート	
521		23-1	5.45	3.40	2.09	無	0	チャート	
522		23-1	5.49	4.30	3.41	無	0	チャート	
523		23-1	8.80	5.33	4.41	有	1	チャート	
524		23-1	7.75	4.78	3.10	無	0	チャート	
525		23-1	8.00	5.41	4.30	無	0	チャート	
526		23-1	5.80	4.55	2.81	無	0	チャート	
527		23-1	7.58	5.80	4.21	無	0	チャート	
528		23-1	8.83	6.10	4.00	無	0	チャート	
529		23-1	7.81	4.43	3.12	無	0	チャート	
530		23-1	5.79	3.90	2.25	無	0	チャート	
531		23-1	9.85	4.32	4.56	無	0	チャート	
532		23-1	6.20	3.48	2.20	無	0	チャート	
533		23-1	6.55	3.45	2.99	無	0	チャート	
534		23-1	8.25	5.81	4.20	無	0	チャート	
535		23-1	8.99	4.51	2.76	無	0	チャート	
536		23-1	6.58	6.05	3.42	無	0	チャート	
537		23-1	7.80	5.04	2.55	無	0	チャート	
538		23-1	5.24	4.35	3.52	無	0	チャート	
539		23-1	7.45	4.70	2.72	無	0	チャート	
540		23-1	8.00	4.24	2.90	無	0	チャート	
541		23-2	9.04	6.03	3.38	無	0	チャート	
542		23-2	6.44	3.95	2.91	無	0	チャート	
543		23-2	5.86	3.63	3.34	無	0	チャート	
544		23-2	6.30	4.05	2.01	無	0	チャート	
545		23-2	6.84	3.36	3.15	無	0	チャート	
546		23-2	8.02	5.68	3.43	無	0	チャート	
547		23-2	6.38	3.42	3.02	無	0	チャート	
548		23-2	6.06	2.98	2.36	無	0	チャート	
549		23-2	5.31	3.70	2.49	無	0	チャート	
550		23-2	9.25	5.02	3.82	無	0	チャート	

第12表　円通寺経塚出土礫石観察表(10)　　法量はすべて最大値で、墨書面を基準とし、ない時はナンバーリング面を基準に計測

遺物番号	挿図番号	図版番号	法量（cm）			墨書の有無	現存墨書面数	石の種類	備考
			たて	よこ	厚さ				
551		23-2	7.49	5.10	2.02	無	0	チャート	
552		23-2	5.90	3.53	1.96	無	0	チャート	
553		23-2	7.05	3.99	3.56	無	0	チャート	
554		23-2	6.61	4.52	3.35	無	0	チャート	
555		23-2	6.90	4.50	4.11	無	0	チャート	
556		23-2	5.60	4.02	2.25	無	0	チャート	
557		23-2	5.80	4.26	2.31	無	0	チャート	
558		23-2	7.19	3.21	2.90	無	0	チャート	
559		23-2	6.21	4.19	3.31	無	0	チャート	
560		23-2	6.42	2.83	2.70	無	0	チャート	
561		24-1	7.08	3.95	2.55	無	0	チャート	二つに割れている
562		24-1	5.28	2.80	3.31	無	0	チャート	二つに割れている
563		24-1	4.32	3.16	1.90	無	0	チャート	石が部分的に欠落
564		24-1	3.85	3.50	2.48	無	0	チャート	石が部分的に欠落
565		24-1	6.04	3.29	2.70	無	0	チャート	石が部分的に欠落
566		24-1	4.00	4.72	2.20	無	0	チャート	石が部分的に欠落
567		24-1	4.43	3.88	1.94	無	0	チャート	石が部分的に欠落
568		24-1	5.76	2.96	2.20	無	0	チャート	石が部分的に欠落
569		24-1	3.03	4.90	2.12	無	0	チャート	石が部分的に欠落
570		24-1	4.90	3.73	2.58	無	0	チャート	石が部分的に欠落
571		24-1	4.92	3.04	1.70	無	0	チャート	石が部分的に欠落
572		24-1	4.70	2.73	2.62	無	0	チャート	石が部分的に欠落
573		24-1	7.64	2.22	1.80	無	0	チャート	石が部分的に欠落
574		24-1	5.31	2.60	2.46	無	0	チャート	石が部分的に欠落
575		24-1	4.70	3.05	1.78	無	0	チャート	石が部分的に欠落
576		24-1	4.22	2.70	1.80	無	0	チャート	石が部分的に欠落
577		24-1	2.85	1.55	2.00	無	0	チャート	石が部分的に欠落
578		24-1	3.95	3.29	1.00	無	0	チャート	石が部分的に欠落
579		24-1	2.08	1.69	1.60	無	0	チャート	

第13表　円通寺経塚出土礫石観察表(11)　　法量はすべて最大値で、墨書面を基準とし、ない時はナンバーリング面を基準に計測

遺物番号	墨書内容	墨書の有無	現存墨書面数	墨書の状態	備考
1	□□□波羅蜜多　巻第十	有	1	部分的に判読可能	
2	六十二	有	1	薄くなっている	
3	六十四	有	1	薄くなっている	
4	百□	有	1	部分的に判読可能	
5	二百	有	1	薄くなっている	
6	二百□□□	有	1	部分的に判読可能	
7	二百七十二	有	1	薄くなっている	
8	四百七十八	有	1	薄くなっている	
9	三百四十一	有	1	薄くなっている	
10	⊏　⊐、□百二十二	有	2	部分的に判読可能	
11	大般若波羅、二百九十一	有	2	薄くなっている	
12	蜜多経、四百三十□	有	2	部分的に判読可能	
13	四百四十□□	有	1	部分的に判読可能	
14	大□□□□蜜多□□、四百七十六	有	2	部分的に判読可能	石が割れている
15	四百八十	有	1	薄くなっている	
16	四百八十□、⊏　⊐	有	2	部分的に判読可能	
17	五百二十、大⊏　⊐	有	2	部分的に判読可能	
18	⊏　⊐、五百□□□	有	2	部分的に判読可能	
19	三百四十三	有	1	薄くなっている	
20	五十六□、⊏　⊐	有	2	部分的に判読可能	
21	巻第六百□丁享保五天庚子五月三日⊏　⊐ ⊏　⊐	有	1	部分的に判読可能	
22	⊏　⊐	有	1	判読不可	
23	⊏　⊐	有	1	判読不可	
24	五百九、享保五庚子年、□□□波羅蜜多経、⊏　⊐	有	4	部分的に判読可能	
25	⊏　⊐、大般若羅蜜多心経	有	3	部分的に判読可能	
26	⊏　⊐	有	1	判読不可	
27	大般若波羅蜜多経、巻第、四百□	有	3	部分的に判読可能	「巻第」は薄い
28	巻⊏　⊐	有	1	部分的に判読可能	

第14表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(1)　　□及び⊏　⊐は、文字のかすれ、墨の剥落により判読不可を示す

遺物番号	墨書内容	墨書の有無	現存墨書面数	墨書の状態	備考
29	大般[ ]、[ ]	有	2	部分的に判読可能	
30	四百□五（カ）	有	1	部分的に判読可能	
31	大般若波羅蜜多、三百四□□	有	2	部分的に判読可能	
32	大般若波羅蜜多経	有	1	薄くなっている	
33	五[ ]、[ ]	有	2	部分的に判読可能	
34	[ ]	有	1	判読不可	
35	[ ]	有	1	判読不可	
36	第□、五月三日□□□、□□	有	3	部分的に判読可能	
37	大般若波羅蜜多□	有	1	部分的に判読可能	
38	□□□□羅蜜多経	有	1	部分的に判読可能	
39	[ ]、[ ]	有	2	判読不可	
40	[ ]	有	1	判読不可	
41	[ ]	有	1	判読不可	
42		無	0		
43	□	有	1	判読不可	
44	[ ]	有	1	部分的に判読可能	石が割れている
45	大[ ]	有	1	部分的に判読可能	
46	[ ]	有	1	判読不可	石が割れている
47	[ ]	有	1	判読不可	
48	大□□□□□多□	有	1	部分的に判読可能	
49	[ ]	有	1	判読不可	
50	[ ]	有	1	判読不可	
51	大[ ]	有	1	部分的に判読可能	
52	四	有	1	部分的に判読可能	
53	[ ]	有	1	判読不可	
54	大般若[ ]	有	1	部分的に判読可能	
55	□□□□□□多経	有	1	部分的に判読可能	
56	[ ]	有	1	判読不可	

第15表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(2)　　□及び[ ]は、文字のかすれ、墨の剥落により判読不可を示す

遺物番号	墨書内容	墨書の有無	現存墨書面数	墨書の状態	備考
57	大［　］、［　］、［　］	有	3	部分的に判読可能	
58	［　］	有	1	判読不可	
59	［　］	有	1	判読不可	
60	［　］	有	1	判読不可	
61	□□□□□蜜多経	有	1	部分的に判読可能	
62	［　］	有	1	判読不可	
63	大［　］	有	1	部分的に判読可能	
64	［　］、［　］、［　］、［　］	有	4	判読不可	
65	［　］	有	1	判読不可	
66	［　］	有	1	判読不可	
67	［　］、［　］	有	2	判読不可	
68		無	0		
69	大般［　］、六□□	有	2	部分的に判読可能	
70	□□□□□蜜多経、［　］	有	2	判読不可	
71	大［　］	有	1	部分的に判読可能	
72		無	0		
73	［　］	有	1	判読不可	
74		無	0		
75		無	0		
76	［　］、［　］	有	2	判読不可	
77	［　］	有	1	判読不可	
78	大般［　］	有	1	部分的に判読可能	
79	大般若［　］、［　］	有	2	部分的に判読可能	
80	［　］、	有	1	判読不可	
81		無	0		
82	［　］、	有	1	判読不可	
83	□□巻第	有	1	部分的に判読可能	
84	［　］、五百□	有	2	部分的に判読可能	

第16表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(3)　　□及び［　］は、文字のかすれ、墨の剝落により判読不可を示す

遺物番号	墨書内容	墨書の有無	現存墨書面数	墨書の状態	備考
85	大般若波羅、［　］	有	2	部分的に判読可能	
86	［　］	有	1	判読不可	
87	大般若□□蜜□、巻第	有	2	部分的に判読可能	「巻第」は薄い
88	大［　］、［　］	有	2	部分的に判読可能	
89	［　］、［　］	有	2	判読不可	
90	［　］、［　］	有	2	判読不可	
91	大般［　］、［　］	有	2	部分的に判読可能	
92	［　］	有	1	判読不可	
93	［　］、［　］	有	2	判読不可	
94	［　］	有	1	判読不可	
95	大［　］、［　］	有	2	部分的に判読可能	
96	五［　］	有	1	部分的に判読可能	
97	［　］	有	1	判読不可	
98	大□□□□、蜜多経、□□□三	有	3	部分的に判読可能	
99	［　］	有	1	判読不可	
100	［　］、［　］	有	2	判読不可	
101	大［　］	有	1	部分的に判読可能	
102	［　］	有	1	判読不可	
103	［　］	有	1	判読不可	
104	大般若［　］	有	1	部分的に判読可能	
105	［　］	有	1	判読不可	
106	［　］	有	1	判読不可	
107	［　］	有	1	判読不可	
108	□□□□□蜜多経	有	1	部分的に判読可能	
109	［　］	有	1	判読不可	
110	［　］、［　］	有	2	判読不可	
111	大般若波羅蜜多経	有	1	薄くなっている	
112	［　］、［　］	有	2	判読不可	

第17表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(4)　　□及び［　］は、文字のかすれ、墨の剝落により判読不可を示す

遺物番号	墨書内容	墨書の有無	現存墨書面数	墨書の状態	備考
113	⌈　⌉、⌈　⌉	有	2	判読不可	
114	百八十□	有	1	部分的に判読可能	
115	四百□□、⌈　⌉	有	2	部分的に判読可能	
116	⌈　⌉、⌈　⌉	有	2	判読不可	
117	⌈　⌉、⌈　⌉	有	2	判読不可	
118	⌈　⌉、⌈　⌉	有	2	判読不可	
119	⌈　⌉	有	1	判読不可	
120		無	0		
121	⌈　⌉	有	1	判読不可	
122	巻⌈　⌉、⌈　⌉	有	2	部分的に判読可能	
123	⌈　⌉	有	1	判読不可	
124	⌈　⌉	有	1	判読不可	
125	大般⌈　⌉	有	1	部分的に判読可能	石が割れている
126	⌈　⌉、⌈　⌉	有	2	判読不可	
127	⌈　⌉	有	1	判読不可	
128	⌈　⌉、⌈　⌉、⌈　⌉	有	3	判読不可	
129	⌈　⌉	有	1	判読不可	
130	⌈　⌉	有	1	判読不可	
131	⌈　⌉	有	1	判読不可	
132	⌈　⌉	有	1	判読不可	
133	⌈　⌉	有	1	判読不可	
134	⌈　⌉	有	1	判読不可	2つに破れている
135	⌈　⌉	有	1	判読不可	
136	⌈　⌉、多経、⌈　⌉	有	3	部分的に判読可能	
137	⌈　⌉、⌈　⌉	有	2	判読不可	
138	大⌈　⌉	有	1	部分的に判読可能	
139	□□□□□蜜□□	有	1	部分的に判読可能	
140	⌈　⌉	有	1	判読不可	

第18表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(5)　　□及び⌈　⌉は、文字のかすれ、墨の剥落により判読不可を示す

遺物番号	墨書内容	墨書の有無	現存墨書面数	墨書の状態	備考
141	［　］	有	1	判読不可	
142		無	0		
143	［　］	有	1	判読不可	
144	［　］、［　］	有	2	判読不可	
145	［　］	有	1	判読不可	
146	［　］、［　］	有	2	判読不可	
147	［　］	有	1	判読不可	
148	［　］	有	1	判読不可	
149	［　］	有	1	判読不可	
150	［　］	有	1	判読不可	
151	九十六	有	1	薄くなっている	割れている
152	［　］	有	1	判読不可	
153	［　］、［　］	有	2	判読不可	
154	［　］	有	1	判読不可	
155	［　］	有	1	判読不可	
156	□	有	1	判読不可	
157		無	0		
158	□	有	1	判読不可	
159	□	有	1	判読不可	
160	［　］、［　］	有	2	判読不可	
161	四［　］	有	1	部分的に判読可能	
162	［　］	有	1	判読不可	
163	［　］	有	1	判読不可	
164	［　］、［　］	有	2	判読不可	
165	大［　］	有	1	部分的に判読可能	
166	［　］、［　］	有	2	判読不可	
167	［　］、［　］	有	2	判読不可	
168	［　］	有	1	判読不可	

第19表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(6)　　□及び［　］は、文字のかすれ、墨の剝落により判読不可を示す

遺物番号	墨書内容	墨書の有無	現存墨書面数	墨書の状態	備考
169	［　］	有	1	判読不可	
170	［　］	有	1	判読不可	
171	［　］	有	1	判読不可	
172		無	0		
173	［　］、［　］	有	2	判読不可	
174	［　］	有	1	判読不可	
175	［　］	有	1	判読不可	
176	大□□□□、蜜多経	有	2	部分的に判読可能	
177	［　］	有	1	判読不可	
178	［　］	有	1	判読不可	
179	［　］	有	1	判読不可	
180	［　］、［　］	有	2	判読不可	
181	［　］、［　］	有	2	判読不可	
182	［　］	有	1	判読不可	
183	［　］	有	1	判読不可	
184	五□	有	1	部分的に判読可能	
185	大般若［　］	有	1	部分的に判読可能	
186	［　］	有	1	判読不可	
187	［　］	有	1	判読不可	
188		無	0		
189	［　］	有	1	判読不可	
190		無	0		
191	大般若波羅□□□、［　］	有	2	部分的に判読可能	
192	［　］、［　］	有	2	判読不可	
193	三［　］	有	1	部分的に判読可能	
194	［　］、［　］	有	2	判読不可	
195	大般若波羅蜜多	有	1	薄くなっている	
196	［　］	有	1	判読不可	

第20表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(7)　　□及び［　］は、文字のかすれ、墨の剥落により判読不可を示す

遺物番号	墨書内容	墨書の有無	現存墨書面数	墨書の状態	備考
197	［　］、［　］	有	2	判読不可	
198	［　］	有	1	判読不可	
199	［　］	有	1	判読不可	
200	大般若波羅蜜多経	有	1	薄くなっている	
201	□	有	1	判読不可	
202	大［　］、［　］	有	2	部分的に判読可能	
203	□	有	1	判読不可	
204	［　］	有	2	判読不可	
205	［　］、□□□三	有	2	部分的に判読可能	
206	［　］、□□□波□□多経	有	2	部分的に判読可能	
207	［　］、［　］	有	2	判読不可	
208	［　］	有	1	判読不可	
209	［　］ □□□十六五月三日送	有	1	部分的に判読可能	「5月3日送」
210	［　］	有	1	判読不可	
211		無	0		
212	［　］	有	1	判読不可	
213	［　］	有	1	判読不可	
214	［　］	有	1	判読不可	
215	［　］	有	1	判読不可	
216		無	0		
217	［　］、［　］	有	2	判読不可	
218	□□九	有	1	部分的に判読可能	
219	［　］、［　］	有	2	判読不可	
220	［　］	有	1	判読不可	
221	［　］	有	1	判読不可	
222	［　］	有	1	判読不可	
223	［　］	有	1	判読不可	
224		無	0		

第21表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(8)　　□及び［　］は、文字のかすれ、墨の剝落により判読不可を示す

遺物番号	墨書内容	墨書の有無	現存墨書面数	墨書の状態	備考
225	[　]	有	1	判読不可	
226	[　]	有	1	判読不可	
227	[　]、[　]、[　]	有	3	判読不可	
228	大般若□、羅蜜多経、三百□□	有	3	部分的に判読可能	
229	[　]	有	1	判読不可	
230	大□□□□、蜜多経	有	2	部分的に判読可能	
231	[　]、[　]	有	2	判読不可	
232		無	0		
233	[　]	有	1	判読不可	
234	四[　]	有	1	部分的に判読可能	
235		無	0		
236	[　]	有	1	判読不可	
237	□百□□	有	1	部分的に判読可能	
238	[　]	有	1	判読不可	
239	大般若波羅蜜多□、[　]	有	2	部分的に判読可能	
240	[　]、百□□	有	2	部分的に判読可能	
241	[　]、[　]	有	2	判読不可	
242	[　]	有	1	判読不可	
243	[　]、[　]	有	2	判読不可	
244	[　]、[　]	有	2	判読不可	
245	[　]	有	1	判読不可	
246	[　]	有	1	判読不可	
247	[　]	有	1	判読不可	二つに割れている
248	[　]	有	1	判読不可	
249	[　]、[　]	有	2	判読不可	
250	[　]	有	1	判読不可	
251	[　]	有	1	判読不可	
252	[　]	有	1	判読不可	

第22表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(9)　　□及び[　]は、文字のかすれ、墨の剥落により判読不可を示す

遺物番号	墨書内容	墨書の有無	現存墨書面数	墨書の状態	備考
253	大[　]	有	1	部分的に判読可能	
254	[　]	有	1	判読不可	
255	[　]	有	1	判読不可	
256	[　]、[　　]	有	2	判読不可	
257	[　]	有	1	判読不可	
258	[　]、[　]、[　]	有	3	判読不可	
259	[　]、[　]	有	2	判読不可	
260	[　]	有	1	判読不可	
261	[　]	有	1	判読不可	
262	[　]	有	1	判読不可	
263	[　]	有	1	判読不可	
264	[　]、[　]	有	2	判読不可	
265	[　]	有	1	判読不可	
266	[　]、[　]	有	2	判読不可	
267	[　]、[　]	有	2	判読不可	
268	[　]	有	1	判読不可	
269	[　]、[　]	有	2	判読不可	
270	[　]、[　]	有	2	判読不可	
271	[　]	有	1	判読不可	
272	[　]、[　]、[　]	有	3	判読不可	
273	[　]	有	1	判読不可	
274	[　]	有	1	判読不可	
275	[　]、[　]	有	2	判読不可	
276	[　]	有	1	判読不可	
277	[　]	有	1	判読不可	
278	[　]	有	1	判読不可	
279	[　]、[　]	有	2	判読不可	
280	[　]	有	1	判読不可	

第23表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(10)　　□及び[　]は、文字のかすれ、墨の剝落により判読不可を示す

遺物番号	墨書内容	墨書の有無	現存墨書面数	墨書の状態	備考
281	［　］	有	1	判読不可	
282	［　］	有	1	判読不可	
283	［　］	有	1	判読不可	
284	［　］	有	1	判読不可	
285	［　］	有	2	判読不可	
286	三□□	有	1	部分的に判読可能	
287	［　］、［　］	有	1	判読不可	
288	［　］	有	2	判読不可	
289	［　］	有	2	判読不可	
290	［　］	有	2	判読不可	
291	［　］	有	1	判読不可	
292	［　］	有	1	判読不可	
293	［　］	有	1	判読不可	
294	［　］、［　］	有	2	判読不可	
295	［　］、［　］、［　］、［　］	有	4	判読不可	
296	［　］	有	1	判読不可	
297	［　］	有	1	判読不可	
298	［　］	有	1	判読不可	
299	［　］、［　］	有	2	判読不可	
300	［　］	有	1	判読不可	
301	九十	有	1	部分的に判読可能	
302	［　］	有	1	判読不可	
303	［　］	有	1	判読不可	
304	［　］	有	1	判読不可	
305	［　］、［　］	有	2	判読不可	
306	一□□	有	1	部分的に判読可能	
307	［　］	有	1	判読不可	
308	［　］、［　］	有	2	判読不可	

第24表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(11)　　□及び［　］は、文字のかすれ、墨の剝落により判読不可を示す

遺物番号	墨書内容	墨書の有無	現存墨書面数	墨書の状態	備考
309	[　]	有	1	判読不可	
310	[　]、五百	有	2	部分的に判読可能	
311	二□□□[　]、大般[　]	有	2	部分的に判読可能	
312	[　]	有	1	判読不可	
313	[　]	有	1	判読不可	
314	大[　]、[　]	有	2	部分的に判読可能	
315	大般[　]、四□□□	有	2	部分的に判読可能	
316	[　]、[　]	有	2	判読不可	
317	□	有	1	判読不可	
318	[　]、[　]	有	2	判読不可	
319	[　]、[　]	有	2	判読不可	
320	[　]、大[　]	有	2	部分的に判読可能	
321	□	有	1	判読不可	
322	大[　]、[　]	有	2	部分的に判読可能	
323	□	有	1	判読不可	
324	□	有	1	判読不可	
325	大般[　]、[　]	有	2	部分的に判読可能	
326	[　]、[　]	有	2	判読不可	
327	[　]、[　]	有	2	判読不可	
328	三□□	有	1	部分的に判読可能	
329	□	有	1	判読不可	
330	大般[　]	有	1	部分的に判読可能	
331	□	有	1	判読不可	
332	[　]	有	1	判読不可	
333	□	有	1	判読不可	
334	大般若[　]、□□	有	2	部分的に判読可能	
335	□□□	有	1	判読不可	
336	大般若蜜多経、二百□□	有	2	部分的に判読可能	

第25表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(12)

□及び[　]は、文字のかすれ、墨の剥落により判読不可を示す

遺物番号	墨書内容	墨書の有無	現存墨書面数	墨書の状態	備考
337	匚　コ	有	1	判読不可	
338	匚　コ	有	1	判読不可	
339	匚　コ	有	1	判読不可	
340	匚　コ	有	1	判読不可	
341	匚　コ	有	1	判読不可	
342	匚　コ	有	1	判読不可	
343	大匚　コ	有	1	部分的に判読可能	
344	匚　コ	有	1	判読不可	
345	匚　コ	有	1	判読不可	
346	匚　コ	有	1	判読不可	
347	匚　コ	有	1	判読不可	
348	匚　コ	有	1	判読不可	
349	匚　コ	有	1	判読不可	
350	一匚　コ	有	1	部分的に判読可能	
351	二匚　コ	有	1	部分的に判読可能	
352	匚　コ	有	1	判読不可	
353	三匚　コ	有	1	部分的に判読可能	
354	大般若匚　コ	有	1	部分的に判読可能	
355	匚　コ、匚　コ	有	2	判読不可	
356	大匚　コ	有	1	部分的に判読可能	
357	□五□	有	1	部分的に判読可能	
358	大匚　コ、匚　コ	有	2	部分的に判読可能	
359	匚　コ	有	1	判読不可	
360	匚　コ、匚　コ	有	2	判読不可	
361	大匚　コ	有	1	部分的に判読可能	
362	□	有	1	判読不可	
363	匚　コ	有	1	判読不可	
364		無	0		

第26表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(13)　　□及び匚　コは、文字のかすれ、墨の剝落により判読不可を示す

遺物番号	墨書内容	墨書の有無	現存墨書面数	墨書の状態	備考
365	□	有	1	判読不可	
366	三□□	有	1	部分的に判読可能	
367	［　］、［　］	有	2	判読不可	
368	［　］	有	1	判読不可	
369	三［　］	有	1	部分的に判読可能	
370	大般若□多経	有	1	部分的に判読可能	
371	［　］	有	1	判読不可	
372	［　］	有	1	判読不可	
373	［　］	有	1	判読不可	
374	［　］、［　］	有	2	判読不可	
375	［　］	有	1	判読不可	
376	［　］	有	1	判読不可	
377	□□五、［　］	有	2	部分的に判読可能	
378	［　］	有	1	判読不可	
379	二［　］	有	1	部分的に判読可能	
380	［　］	有	1	判読不可	
381	［　］	有	1	判読不可	
382	［　］	有	1	判読不可	
383	［　］	有	1	判読不可	
384	［　］	有	1	判読不可	
385	［　］	有	1	判読不可	
386	［　］	有	1	判読不可	二つに割れている
387	［　］	有	1	判読不可	部分的に欠けている
388	［　］	有	1	判読不可	部分的に欠けている
389	□四十六	有	1	部分的に判読可能	部分的に欠けている
390		無	0		
391		無	0		
392		無	0		

第27表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(14)　　□及び［　］は、文字のかすれ、墨の剥落により判読不可を示す

遺物番号	墨　書　内　容	墨　書の有無	現存墨書面数	墨書の状態	備　　考
393		無	0		
394		無	0		
395		無	0		
396		無	0		
397		無	0		
398		無	0		
399		無	0		
400		無	0		
401		無	0		
402		無	0		
403		無	0		
404		無	0		
405		無	0		
406		無	0		
407		無	0		
408		無	0		
409		無	0		
410		無	0		
411		無	0		
412		無	0		
413		無	0		
414		無	0		
415		無	0		
416		無	0		
417		無	0		
418		無	0		
419		無	0		
420		無	0		

第28表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(15)　　□及び⊏　⊐は、文字のかすれ、墨の剥落により判読不可を示す

遺物番号	墨書内容	墨書の有無	現存墨書面数	墨書の状態	備考
421		無	0		
422		無	0		
423		無	0		
424		無	0		
425		無	0		
426		無	0		
427		無	0		
428	□	有	1	判読不可	
429		無	0		
430		無	0		
431		無	0		
432		無	0		
433		無	0		
434		無	0		
435		無	0		
436		無	0		
437		無	0		
438		無	0		二つに割れている
439		無	0		
440		無	0		
441		無	0		
442		無	0		
443		無	0		
444	[　]	有	1	判読不可	
445		無	0		
446		無	0		
447		無	0		
448		無	0		

第29表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(16)　　□及び[　]は、文字のかすれ、墨の剝落により判読不可を示す

遺物番号	墨　書　内　容	墨　書の有無	現存墨書面数	墨書の状態	備　　考
449		無	0		
450		無	0		
451		無	0		
452		無	0		
453	□	有	1	判読不可	
454		無	0		
455		無	0		
456		無	0		
457		無	0		
458		無	0		
459		無	0		
460		無	0		
461		無	0		
462		無	0		
463		無	0		
464		無	0		
465		無	0		
466		無	0		
467		無	0		
468	□	有	1	判読不可	
469		無	0		
470		無	0		
471		無	0		
472		無	0		
473		無	0		
474		無	0		
475		無	0		
476		無	0		

第30表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(17)　　□及び[　　]は、文字のかすれ、墨の剝落により判読不可を示す

遺物番号	墨　書　内　容	墨　書の有無	現存墨書面数	墨書の状態	備　　考
477		無	0		
478		無	0		
479		無	0		
480		無	0		
481		無	0		
482		無	0		
483		無	0		
484		無	0		
485		無	0		
486		無	0		
487		無	0		
488		無	0		
489		無	0		
490		無	0		
491		無	0		
492		無	0		
493		無	0		
494		無	0		
495		無	0		
496		無	0		
497		無	0		
498		無	0		
499		無	0		
500		無	0		
501		無	0		
502		無	0		
503		無	0		
504		無	0		

第31表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(18)　　□及び[　]は、文字のかすれ、墨の剝落により判読不可を示す

遺物番号	墨書内容	墨書の有無	現存墨書面数	墨書の状態	備考
505		無	0		
506		無	0		
507		無	0		
508	□	有	1	判読不可	
509		無	0		
510		無	0		
511		無	0		
512		無	0		
513		無	0		
514		無	0		
515		無	0		
516		無	0		
517		無	0		
518	[　]	有	1	判読不可	
519		無	0		
520		無	0		
521		無	0		
522		無	0		
523	[　]	有	1	判読不可	
524		無	0		
525		無	0		
526		無	0		
527		無	0		
528		無	0		
529		無	0		
530		無	0		
531		無	0		
532		無	0		

第32表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(19)　　□及び[　]は、文字のかすれ、墨の剝落により判読不可を示す

遺物番号	墨書内容	墨書の有無	現存墨書面数	墨書の状態	備考
533		無	0		
534		無	0		
535		無	0		
536		無	0		
537		無	0		
538		無	0		
539		無	0		
540		無	0		
541		無	0		
542		無	0		
543		無	0		
544		無	0		
545		無	0		
546		無	0		
547		無	0		
548		無	0		
549		無	0		
550		無	0		
551		無	0		
552		無	0		
553		無	0		
554		無	0		
555		無	0		
556		無	0		
557		無	0		
558		無	0		
559		無	0		
560		無	0		

第33表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(20)　　□及び[　]は、文字のかすれ、墨の剥落により判読不可を示す

遺物番号	墨書内容	墨書の有無	現存墨書面数	墨書の状態	備考
561		無	0		二つに割れている
562		無	0		二つに割れている
563		無	0		石が部分的に欠落
564		無	0		石が部分的に欠落
565		無	0		石が部分的に欠落
566		無	0		石が部分的に欠落
567		無	0		石が部分的に欠落
568		無	0		石が部分的に欠落
569		無	0		石が部分的に欠落
570		無	0		石が部分的に欠落
571		無	0		石が部分的に欠落
572		無	0		石が部分的に欠落
573		無	0		石が部分的に欠落
574		無	0		石が部分的に欠落
575		無	0		石が部分的に欠落
576		無	0		石が部分的に欠落
577		無	0		石が部分的に欠落
578		無	0		石が部分的に欠落
579		無	0		

第34表　円通寺経塚出土礫石墨書判読一覧表(21)　　□及び[　　]は、文字のかすれ、墨の剝落により判読不可を示す

第4章　円通寺について

瑞木山円通寺境内

第1節　円通寺略史

円通寺は大府市北西部の共和町小仏67番地に所在する。現在の名称は「瑞木山円通寺」と称している。寺歴は古く奈良時代の天平期に遡るようである。寺には創建当時の古文書や古記録は現存しない。しかし、『観音縁起』[1]（以下『縁起』と略す）と称される故事来歴を記した後世の編纂物が存在している。後世の編纂物とはいえ、この記録は寺にとって重要な記録として伝来してきたものである。

『大府町史』[2]と『大府市誌』本文編[3]には寺の略歴が記載され、また円通寺前住職中井俊道氏の論文[4]もあり、ある程度円通寺の歴史をうかがうことはできる。しかし、いずれの文章も上記の『縁起』をもとにしたと思われる程、記述内容が酷似している。いずれにしても円通寺の歴史を物語るに必須の資料として利用されていることは否定できない事実である。

『縁起』は後世の編纂物であるが、これ以外に当時の様子を記したまとまった史料はない。そのため寺史を記すには使用せざるを得ない。そこで、この『縁起』と中井論文そして伝来古文書等をもとに円通寺の略史を経碑建立時の享和5年（1720）頃までたどっておくこととする。

寺の創建は天平元年（729）に行基がはじめて知多郡に入り、この地において、尊像を彫刻して七堂伽藍を配したことによる。このとき、山号を霊木でもって像を彫刻したことにより「瑞木山」と、また寺号を観音二十五の神通を取って「円通寺」とした。そして院坊を七処に造営して、法相宗の寺としたと記す。また、寺の北部から若干隔たる「一牛鳴の地」に子安大明神があり、坂本と呼ばれる。その奥のところに精舎を造り、奥の院と称したとされる。当時の地形について触れた記述もあり、古来この地は水位が高く、伊勢湾の海水が大高よりこの地（木之山）に入り込んで、山峡で入江が多かったとされ、中世には「江之荘」と呼ばれていたとも記している。その後、10世紀中頃の承平・天慶の乱の時、堂舎が兵乱により焼失し、その惨劇を物語る「入道塚」「児子迫間」「血洗いの池」[5]などの地名が残ったと云う。鎌倉末期の嘉暦2年（1326）には、宗派が法相宗から真言宗へと転宗している。

中世にはいって、14世紀の前期頃に焼失したままの寺院の一部が再建されてたが、再び南北朝の内乱により焼失したようである。その後、禅僧の夢窓疎石により再興されて臨済宗の寺院となった。15世紀末の延徳年間に、浜島次郎左衛門が同寺の勧進主として移住し、円通寺は、寺号をとって「木野山」と村を名付けた。この一族が、16世紀中頃の弘治年間に山口氏[6]へ改姓したとある。

ところで、文禄2年に法流が途絶えたため、曹洞宗の僧侶秀繁なる僧を入寺させた。宗派は臨済宗から曹洞宗へと三度目の転宗をおこなった。秀繁は、知多郡大高村にある春江院に上山して、住持と本寺・末寺の誓約を結び、春江院の末寺となったとある。秀繁は中興開基と位置づけられた人物である。なお、この春江院との関係は江戸期を通じて同様の関係であったことが古文書の上で確認できる[7]。その後、明和6年（1769）8月に平僧地から葬儀の導師ができる法地へと昇格している[8]。

『縁起』等によれば、上記のような概略が円通寺の歴史となる。このいずれもが事実かどうか首肯するにたる別の史料は現存しない。また、『縁起』の記述がすべてそのまま正しいとする訳にはいかないが、棟札や仏像その他の文化財[9]に時代を感じさせるものが伝来していることから、寺の創建は古代に遡っても間違いではないと思われる。

現在の円通寺は創建当時のように、七堂伽藍はなく、観音堂（江戸中期）と客殿（江戸末期から明

治初期）の他に１宇の建物があるだけで往時の面影を偲ぶにはほど遠いものとなっている。しかし、江戸後期の文化文政期に始まった知多新四国八十八箇所めぐりの八十八番札所になっていることもあり、巡礼者の絶えることはない。

註

(1) 元禄12年（1699)成立だが、戦国末期の文禄２年（1592)に栄哲なる人物により記されたものを原本にして、元禄期に雲喬により追記されたものと思われる。

(2) 「第四編　事物縁起」（大府町史編纂委員会、716頁、１９６６年刊）。

(3) 「第３章　寺院」（大府市役所、796～７頁、１９８６年刊）。

(4) 中井俊道「『観音縁起』を中心とした円通寺史」（『大府市誌』資料編　宗教、大府市役所、296～301頁、１９８９年刊、）。なお、中井俊道はすでに故人であるが、『大府市誌』編纂当時に編集委員（宗教）の一人であった人物である。

(5) 「入道塚」「児子迫間」「血洗いの池」などの地名は「入道」「児子廻間」「血洗」と表記をかえて残っている。

(6) 山口氏は円通寺のある木之山地区に一番多い苗字である。

(7) 『大府市誌』資料編　宗教（大府市役所、１９８９年刊）。

(8) 文政５年９月「由緒書」（『大府市誌』資料編　宗教、大府市役所、101～103頁、１９８９年刊）。

(9) 円通寺には、平安時代と推定される「木造馬頭観世音菩薩立像」１体と「木造子安准胝観世音菩薩立像」１体をはじめとする彫刻や嘉暦２年の年季をもつ棟札など数多くの文化財が所蔵されている。

第2節　円通寺関係僧侶等について

第1節のように、古い歴史をもつ円通寺だが、歴代住職や在籍僧については、当時から書き継がれてきた記録はない。ただ後世の記録が若干存在するのみである。しかも、それには在任期間の記述はない。そこで、古文書や古記録等を駆使して住職表復元の作業を試行しつつ、関係僧侶をリストアップする。それをもとにして、経碑に刻まれた「雲山」なる人物およびその関係者を特定し、経塚建立に至る一連の事業の目的等をさぐる一助としたい。

基本となる史料は、同寺所蔵の『回向集』[(1)]と題名のついた史料とわずかに伝存する古文書、棟札、そして川口高風氏による『愛知県曹洞宗歴住集覧』[(2)]のみである。

まず、川口氏の作成した円通寺の住職表を示しておく。簡単ではあるが、歴代住職を系図風に表示

開山
①風山祖鳳 － ②俊成養愚 － ③亭國田利 － ④千山卓丈 － ⑤無學道悟 － ⑥大圓瑞峯
－ ⑦一乘瑞天 － ⑧惠戒玄定 － ⑨佛山玄雄 － ⑩蘭山大周 － ⑪天山玄龍 －
－ ⑫實操玄底 － ⑬隆嶽俊栄 － ⑭潜底眞龍 － ⑮禪山俊道

第35表　円通寺歴代住職表（川口高風氏作成の表をもとに、筆者が再構成）

してあるのでおおいに参考になる。氏が依拠した典拠資料はわからないが、円通寺には『回向集』という史料があるので、おそらくこれを参考に住職表を作成されたと思われる。しかし、この住職表には就任または在職期間の記載がない点が惜しまれるとともに、所蔵文書や棟札等関係諸記録で同寺との関係を確認できない住職も何名か入っているなど、幾分疑問の残る部分もあるので、円通寺住職表の再構成を試みたいと思う。

ここで、まず基本史料となる『回向集』の内容を以下に紹介する。

回向集

開基　行基菩薩　　　　瑞木山圓通寺　㊞

中興開山　夢窓国師

55

瑩山紹瑾大和尚　　　峩山紹碩大和尚

大源宗真大和尚　　　梅山聞本大和尚

恕仲天□大和尚　　　真岩道空大和尚

（乾坤院開山）

川僧彗済大和尚	逆翁宗順大和尚
芝岡崇田大和尚 （長源寺開山）	享隠慶泉大和尚
大中一介大和尚	静室興安大和尚
桃林有仙大和尚	休安存宿大和尚
在室岱存大和尚	徳翁安貞大和尚
長翁舜道大和尚	未天量撮大和尚
快岩冨永大和尚	逆水北順大和尚
法船可恩大和尚	秀光恩禅大和尚
愚耕定彗大和尚	吉州智範大和尚
錦江古帆大和尚	錦秀彗帆大和尚
蘭渓越秀大和尚	大圓瑞峯大和尚
恵戒玄定大和尚	佛山玄雄大和尚
蘭山大周大和尚	實操玄底大和尚
隆嶽俊桊大和尚	（禅山俊道大和尚）
良弘	賑山良弘大和尚
	90代 良岳

當山開山鳳山祖鳳大和尚

二世　俊成養愚大和尚　　三世　亨國田利大和尚
四世　千山卓丈大和尚　　五世　無学道悟大和尚
血脈相承
六世中興　大圓瑞峯大和尚　血脈相承
七世　一乗瑞天大和尚　　八世　恵戒玄底大和尚
九世　佛山玄雄大和尚　　十世　蘭山大周大和尚
血脈相承
十一世　天山玄龍大和尚　　十二世　實操玄底大和尚
血脈相承
十三世　隆嶽俊栄大和尚　　十四世　潜底真龍大和尚
血脈相承　　血脈相承
十五世　禅山俊道　　十六世　賑山良弘
十七世　良岳

奉請　龍天護法大善神

白山妙理大権現

禅山俊道拝書

授与

胝山良和尚

至福々々

この文書は袋綴のもので、円通寺の現在の住職の十六世胝山良弘に先代の禅山俊道が送ったものである。書かれたのは、昭和36年初冬である。内容は僧侶名の名寄帳のようなものだが、最初に書かれている「瑩山紹瑾大和尚」には「５５」という数字が頭に付けられ、「良岳」には「９０代」と追記されている。前段の部分は、釈迦の弟子の僧侶を寄せ集めたものと言われる部分である。後段部分は曹洞宗改宗後「當山開山鳳山祖鳳大和尚」から始まり、現在の住職まで記されている。

次に、古文書と棟札等に記された僧名を拾い出し、まとめたのが、第36・37表である。当時の史料と上記の『回向集』とを比較すると、『回向集』に記載のない僧名が多くある。ここでは一々指摘しないが、歴代住職の部分だけみると、開山鳳山祖鳳、二世の俊成養愚、三世の亨國田利、五世の千山卓丈の４名が確認できなかった。いずれも在籍したかどうか疑問符が付く人物であるが、そのうちの３名については、『愛知県曹洞宗歴住集覧』によれば、円通寺の本寺春江院の歴住に名前が残っている。同一人物かどうかの確認がむずかしいが、九世に鳳山祖鳳、十世に俊成養愚、十一世に亨國田利がいる。彼らの春江院での歴住期間、またはいつごろの時代の人物か分かれば、円通寺の住職のナゾも解けるはずである。しかし、現在はその手段を持たないので、指摘するのみに止めておく。

また、当時の記録には、「瑞木山圓通四世雲喬」（第36表の番号３）や「当寺七世雲喬室和南」（第37表の番号20）という『回向集』とは異なった人物の記述がある。そのほか、棟札からは戦国末期以降に円通寺が臨済宗の法脈が途絶えた以降をみただけでも、「賢応栄哲」（第37表の番号９）・「秀繁」（第37表の番号10・11・12）・「道察」（第37表の番号13）・「卓瑞」（第37表の番号14）・「豊朔」（第37表の番号15・16・17）・「雲喬」（第37表の番号18・19・20・21）・「雲山」（第37表の番号22）の７名が存在する。どうも『回向集』との記述と当時の記録類と符号しない部分が多いのである。『回向集』は代々書き継がれてきたものではないし、またこのような記録に基づいてもいないと推定される。つまり、記録としては確度の低い史料と言わざるをえないのである。そこで、参考になるのが、当初紹介した『観音縁起』という編纂物である。この編纂物は文禄２年（1593）に栄哲が誌したものを、元禄12年（1699）に雲喬が書き加えたものである。雲喬が書き加えた部分に上記のナゾを解く鍵がある。以下に引用する。

観音縁起　全

（中略）

三月十有八日

瑞木山圓通寺住持

番号	文書名	年月日	差出	宛所	頁数	備考
1	覚	貞享5(1688)10.1	五郎介	圓通寺	37	
2	乍恐奉願新田所之御事	元禄7(1694)8	知多郡長草村吉右衛門他2名	服部重郎兵衛	57	
3	観音縁起	元禄12(1699)4.7	瑞木山圓通四世雲喬		87	文禄2.3.18、住持栄哲四世雲喬
4	永代ニ相渡シ申田地之事	元禄16(1703)12	売主平左衛門他2名	木之山圓通寺	37	
5	永代ニ相渡シ申田方之事	享保12(1727)11	当村地方売主善次郎他2名	当村圓通寺	38	
6	奉願御事	延享2(1745)12	知多郡木之山村禅宗圓通寺	土岐市右衛門	57	
7	境内切起畑方永々預り相極之事	延享2(1745)12	當村小作頭肝煎源三郎他11名	圓通寺	59	
8	永代ニ相渡シ申田方之事	延享4(1747)11	田方浅右衛門他1名	圓通寺	40	
9	永代ニ相渡シ申田方之事	寛延3(1750)2	田方渡シ主権右衛門他3名	圓通寺	40	
10	永代ニ相渡シ申田方之事	宝暦7(1757)11	田方渡主半六他2名	圓通寺	41	
11	(補任状)	明和5(1768)3.17	現住彌山	東昌寺卓丈大和尚禅室	103	
12	送一札	安永10(1781)1	大高村春江院	木之山村圓通□寺	78	
13	宗門一札	天明5(1785)2	佐布里村天徳院	圓通寺	78	
14	一札	天明5(1785)3	鳴海瑞泉寺	木之山圓通寺	79	
15	一札	寛政元(1789)3	横須賀村永昌院	木之山村圓通寺	80	
16	宗門送り□□	寛政3(1791)2	知多郡桶狭間村浄土宗長福寺	同郡木之山禅宗圓通寺	80	
17	宗門送一札	寛政6(1794)1	春江院	圓通寺	81	
18	送一札	寛政12(1800)3	加木屋村普済寺	木之山村圓通寺	81	
19	一札	寛政13(1801)2	大高村春江院	木之山村圓通寺	82	
20	送一札	享和2(1802)2	長草村地蔵寺	木之山村圓通寺	82	
21	一札	文化2(1805)2	平嶋村西方寺	木之山村圓通寺	83	
22	永代相渡申田地之事	文化2(1805)11	地方渡シ主与右衛門他3名	圓通寺大方丈	42	瑞峯代
23	送一札	文化3(1806)3	加木屋村如意庵	木之山村圓通寺	83	
24	永代相渡シ田地之事	文化7(1810)夏	売りぬし喜兵衛他1名	圓通寺御納所	43	瑞峯代
25	永代相渡シ申田地之事	文化8(1811)11	田方渡シ主太兵衛他2名	圓通寺	43	瑞峯代
26	永代相渡シ申田地之事	文化9(1812)12	売主庄屋伊兵衛他1名	圓通寺	44	瑞峯代
27	送一札	文化12(1815)1	長草村地蔵寺	木之山村圓通寺	84	
28	永代売渡シ申田方之事	文化13(1816)12	売主和兵衛他2名	圓通寺	45	
29	永代相渡シ申地方之事	文政元(1818)12	地方売主孫左衛門他2名	圓通寺	45	
30	永代売渡シ申田方之事	文政2(1819)2	地方売主治平他1名	圓通寺	46	
31	子安神社勧化帳	文政2(1819)7	圓通寺		22	
32	永代相渡申田畑之事	文政2(1819)12	地方渡シ主伊兵衛他3名	圓通寺	46	
33	永代相渡シ申畑方之事	文政2(1819)12	売主伊兵衛他2名	圓通寺	47	
34	差出申為取替證文之事	文政4(1821)10	大高村組頭重助他6名	木之山村庄屋久三郎他1名	48	
35	差出申為取替證文之事	文政4(1821)10	木之山村頭百姓治左衛門他5名	大高村組頭重助他4名	48	
36	永代売渡申畑方之事	文政4(1821)12	地方売主孫左衛門他2名	圓通寺様御納所	49	
37	由緒書	文政5(1822)9	知多郡木之山村禅宗圓通寺	寺社御奉行所	101	寛政5.3.6瑞峯、明和6.8六世香閑代、文政3.11.18瑞峯
38	奉願上候御事	文政6(1823)11	木之山村圓通寺	春江院御役寮	64	
39	送一札	文政7(1824)2	長草村地蔵寺	木之山村圓通寺	84	
40	一札	文政7(1824)3	大高村春江院	木之山村圓通寺	85	
41	宗門一札之事	文政8(1825)1	西境村長善寺	小之山村圓通寺	85	
42	永代売渡シ申田方之事	文政13(1830)7	地方売主久三郎他2名	圓通寺	50	
43	永代売渡シ申田方之事	天保6(1835)12	売主与右衛門他4名	圓通寺	50	
44	借用申金子請書證文之事	天保9(1838)12	金子借用徳左衛門他2名	圓通寺	51	
45	(転衣許可)	天保11(1840)4.1		清源寺玄定和尚	104	
46	(仁孝天皇綸旨)	天保11(1840)4.21	権右中弁	清源寺玄定和尚禅室	105	
47	指上申地方證文之事	天保15(1844)1	地方主弥八他2名	圓通寺	52	
48	奉願上候御事	嘉永元(1848)12	同郡木之山村庄屋宇右衛門他1名	春江院御役寮	67	住持瑞天長老 先々住瑞峯嗣法之弟子玄定
49	奉願上候御事	嘉永2(1849)10	知多郡大高村春江院末同郡木之山村圓通寺玄定	寺社御奉行所	68	
50	永代譲渡し申田地之事	嘉永3(1850)7	徳左衛門他2名	圓通寺	53	
51	永代売渡申證文之事	嘉永6(1853)9	売主喜七他1名	圓通寺	54	
52	指出申一札之事	文久3(1863)5	木之山村玄雄	正眼寺御役寮	86	無住に付、玄雄へ
53	奉願上候御事	元治元(1864)11	知多郡大高村春江院末同郡木之山村圓通寺玄雄	寺社御奉行所	70	
54	借用申金子之事	元治2(1865)1	金子借用主栄左衛門他2名	喜代七	54	
55	御嘆願申上候御事	元治2(1865)1	知多郡大高村春江院越玄	正眼寺御役寮	71	住持玄雄嗣法子大周
56	本文ニ書添申上納山之事	慶応3(1867)1	売主八十兵衛他2名	加藤幸右衛門	55	
57	譲渡し申定納山之事	慶応3(1867)2	地所譲主七右衛門他1名	幸右衛門	55	
58	(褒賞)	――――11.18	知多郡木之山村圓通寺瑞峯		105	

第36表　円通寺文書記載関係僧侶等一覧表

出典は『大府市誌』資料編　宗教による

番号	棟札No	年　月　日	円　通　寺　関　係　僧　侶　等	備考
1	1	嘉暦 2 (1327) 9．9	法地六世中興瑞峯叟、別当御房長真、供僧実性御房任性	写
2	2	応永 9 (1402) 8．25	住持比丘梵晴	
3	5	文亀 3 (1503) 11．9	融泉	
4	6	永正 2 (1505) 12．18	住持融泉	
5	7	大永 7 (1527) 11．6	別当融泉　比丘珠得	
6	8	天文12 (1543) 11．18	別当源二郎　昌賢	
7	9	永禄 5 (1562) 3．18	住持公周印蔵主、別当職久三郎	
8	1 1	天正 5 (1577) 9．18	住持公宗固蔵主、別当職久三郎	
9	1 5	文禄 2 (1593) 2	賢応栄哲	
1 0	1 6	慶長 4 (1599) 10．18	住持比丘秀繁	
1 1	1 7	元和 4 (1618) 5．18	秀繁	
1 2	2 0	寛永元 (1624) 10．18	比久秀繁	
1 3	2 4	寛永17 (1640) 10．18	住持比丘道察沙門	
1 4	3 2	明暦 2 (1656) 10．18	住持卓瑞砂門	
1 5	3 8	寛文12 (1672) 7．1	現住豊朔代	
1 6	4 3	貞享 4 (1687) 3	現住豊朔代　六世瑞峯	写
1 7	4 5	貞享 5 (1688) 6．23	現住豊朔代	
1 8	5 2	宝永元 (1704) 9．28	住持雲喬代	
1 9	6 0	正徳 2 (1712) 8	現寄雲喬代	
2 0	6 1	正徳 2 (1712) 8	当寺七世雲喬室和南、六世瑞峯	写
2 1	6 8	享保 5 (1720) 1．23	現住侶雲喬	
2 2	6 7	享保 5 (1720) 5．3	雲山	
2 3	7 8	享保13 (1728) 4．28	香聞	
2 4	8 8	享保21 (1736) 4．26	住持香聞	
2 5	8 9	享保21 (1736) 4．26	住持香聞	
2 6	1 0 3	延享 2 (1745) 3．11	住持香聞	
2 7	1 0 4	延享 2 (1745) 3．11	住持香聞	
2 8	1 0 8	宝暦 2 (1752) 1	住持香聞	
2 9	1 0 9	宝暦 2 (1752) 4．23	住持香聞代	
3 0	1 2 4	明和 5 (1768) 4．23	住持聞嶺	
3 1	1 3 2	安永 8 (1779) 3．14	卓丈	
3 2	1 5 5	寛政12 (1800) 4．23	現住瑞峯代	
3 3	1 5 9	文化 3 (1806)	六世中興瑞峯代直歳卍光	
3 4	1 6 9	文化12 (1815) 1	六世瑞峯代玄定	
3 5	1 7 5	文政 3 (1820) 7．25	現住瑞峯叟代	

第37表　円通寺所蔵棟札記載関係僧侶等一覧表　　出典は『大府市誌』資料編　宗教で、内容について一部原本にて修正

栄哲謹誌□

今度旧記御改付本帳面書添指出申覚栄哲無幾程文禄二癸巳年孟夏
羅疾忽逝到此時臨済之法統已衰闕継其席之人故始為曹洞之正脈今歳癸
巳穐合差郷檀越閣村氏隷相議共請招曹洞之僧秀繁和尚主斯席繁和尚入
同郡大高邑春江院禅院（中略）繁公執事十有八年到慶長十五庚戌歳入
寂封塔建牌為再中興開山遂嘱僧喜雲司二世席雲公住持十有六年到寛永
二乙丑歳順寂僧道察来董席十有九年及寛永二十癸未歳退去主他席
其後僧卓瑞住持十有五年到萬治元戊戌歳帰住同郡姫嶋之玄猷禅寺
而後僧陽朔来董斯席執事三十有四年晝夜（中略）元禄四辛未歳朔公
懐肥遯之志遂嘱弟子雲喬主斯席到今歳元禄十二己卯春正月初八日
示寂封牌以為中興第三世　（後略）

（傍線　筆者）

この『縁起』には下線を付けたように、7名の僧侶の名が出てくる。彼らの名前は、第37表にあるように圓通寺所蔵の棟札にある僧名である。まず、栄哲は「賢応栄哲」のことで、臨済宗時代の最後の僧侶である。秀繁は、曹洞宗時代最初の僧で、再中興開山と『縁起』には記されている。次の喜雲は、当時の記録には名前が残されていないが、二世席を司った人物として登場する。道察と卓瑞は監督僧として圓通寺に在籍した僧侶である。陽朔は、棟札には「豊朔」と記されているが、『縁起』の記す年代と棟札の年代とが一致するので、同一人物と思われる。また彼をして「中興第三世と為」とした人物である。雲喬は、陽朔の弟子であったとされる。

以上の結果をまとめると、曹洞宗改宗以後、秀繁・喜雲・道察・卓瑞・陽朔（豊朔）・雲喬の系統が浮かび上がってくる。彼らは、川口氏作成の住職表にはいずれも名前のない人物達である。この系統の他、棟札には雲喬の後、香聞と聞嶺の2人が確認できる。かれらの経歴や在職年代等は一切不明であるが、卓丈より前の棟札にその名が残されている。

ところで、川口氏作成表には四世千山卓丈と六世大圓瑞峯以降の人物は文書と棟札で確認のとれる人物である。千山卓丈については、明和5年（1768）3月17日付の補任状に「東昌寺卓丈大和尚」として、また安永8年（1779）の棟札に「卓丈」と記されている。大圓瑞峯については、文書や棟札にその名を頻繁に見る僧侶で、初見は寛政12年（1800）の棟札である。一乗瑞天は、嘉永元年（1848）の文書にその名を記している。恵戒玄定は、嘉永2年（1848）の文書に「圓通寺玄定」と署名している。佛山玄雄も、元治元年（1864）の文書に「圓通寺玄雄」と署名している。また、蘭山大周は、元治2年（1865）の文書に「住持玄雄嗣法子大周」と記されるのが唯一である。彼らのうち、大圓瑞峯と佛山玄雄は宇宙山乾坤院（愛知県東浦町）の住持を輪番で勤めていた[(3)]。以下、天山玄龍・實操玄底・隆嶽俊栄・潜底眞龍・禪山俊道は明治期以降なのでここでは省略する。

これまでの考察の結果に基づいて、川口氏作成の住職表とつなげると、第38表のようになる。これは、現段階での試案であるので、再検討の余地は十分あると思われる。今後、あらたに文書や文字史料等

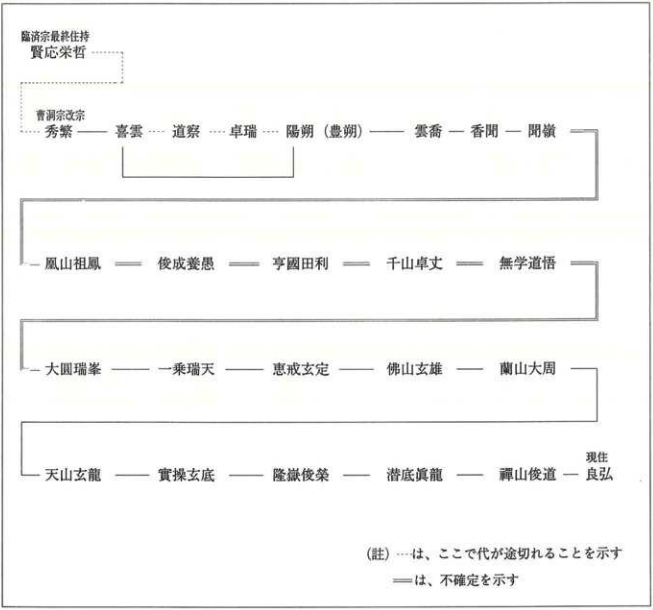
が発見されることにより、さらにこの表の精度が高くなることを期待したい。

註

(1) 昭和36年（１９６１）に当寺15世禪山俊道が作成したものである。

(2) １９９５年刊。

(3) 川口高風編『愛知県曹洞宗歴住集覧』（１９９５年刊）。



第38表 江戸期円通寺歴代住職系譜試案

第5章　小　　結

瑞木山円通寺遠景（西より）

ま と め

円通寺経塚は、工事中に偶然発見された遺跡である。そのため必要かつ十分な調査をしえなかったのは、大府市域および知多半島の仏教文化、歴史を解明する手掛かりの一つを失った思いがあり、大変残念である。

経塚からは約５７９個の握り拳大の礫石が出土し、そのうちの３７８個に墨書および墨跡が確認された。礫石の墨書は、判読できたものから判断すると「大般若波羅蜜多経」とその巻数が共通項目として筆書されており、一部に享保５年の年号の記載があった。

また、経塚に付随したものと思われる経碑にも大般若経と享保５年の年号が刻まれていた。さらに、円通寺文書のなかにも刻文を記載した古文書と大般若経の転読法要の最中にその守護を願って実施された馬頭観音像の開帳棟札が現存していた。すなわち、経塚は江戸中期の享保５年の年頭から開始された大般若経の転読法要の一貫として建立または埋納されたものとみて間違いない。残された記録では、この前後に円通寺経塚建立ほどの事業は記録が見受けられない。円通寺にしてみれば、寺をあげての一大事業であったと考えられる。この時の円通寺の住職は「雲山」という僧侶で、彼は円通寺の四世で、当時の文書や棟札には「雲喬」と記される人物だが、諸記録の年代と同年代ということから別人と考えるよりは同一人物と考える方が、自然である。この経塚建立の一大事業は、円通寺四世の雲喬の手になるものであったと考えられる。

調査にあたって、残された課題も若干存在する。たとえば、経塚建立事業を雲喬一人でおこなったのか、檀徒や村民はどのように関わったのか、尾張藩の宗教政策との関連はどうなっていたか、など枚挙にいとまがない。今後の課題としたい。

ところで、礫石経の研究は、発掘調査例が少なく、充分な検討ができる段階ではないことが知られている。愛知県内の所在例は、平成６年の時点で尾張部で17箇所、三河部で31箇所が確認されている[(1)]。このうち、「愛知県の礫石経・経碑」と題名のついた表の事例からは、県内で確認されている経塚は江戸期が多く、一字一石経と礫石経が併存していることがわかっている[(2)]。円通寺経塚は、県内で一般的な経塚の事例として捉えることが現時点では可能だと思われる。

最後に、大府市にはこの円通寺経塚以外に東光寺経塚をはじめ他に２か寺に経塚が存在した可能性がある。この２か寺については、いまだ調査の手が及んでいない。また、未知の経塚や仏教遺跡が市内にまだ存在しているかもしれない。それらを含めて今後の調査の機会を待ち、経塚の発掘調査例が増加することを期待したい。

註

(1)　「礫石経の地域相」の中にある駒田利治「５　東海」（『考古学論究』第３号、６８頁、１９９４年刊）

(2)　第５章の註(1)参照。

図　版

調査前遠景（東より） 1

調査後遠景（西より） 2

図版１　遺跡(1)

経碑近景 1

経碑近景 2

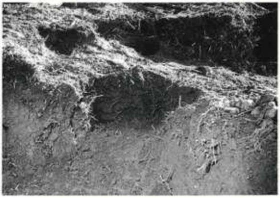
経碑跡 3

経碑跡 4

礫石出土状況 5

礫石出土状況 6

礫石出土状況 7



経塚跡 8

図版 2 遺跡(2)

正面（西向き）　1

第2面　2

第3面　3

第4面　4

図版3　経碑

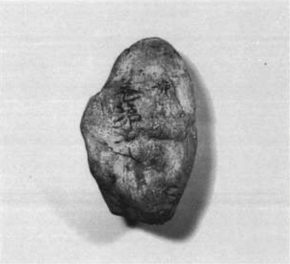
瓦製厨子　1

経碑移築後　2

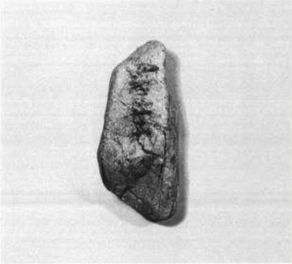
経碑　3

経碑　4

図版 4　経碑等



遺物番号 1　　1



遺物番号 8　　2

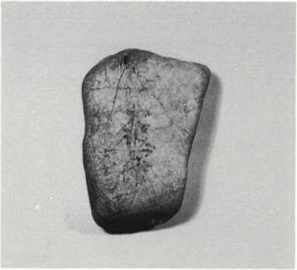
遺物番号11　　3

遺物番号11　　4

遺物番号21　　5

遺物番号37　　6

図版 5　礫石経墨書(1)



遺物番号24　1

遺物番号24　2

遺物番号24　3

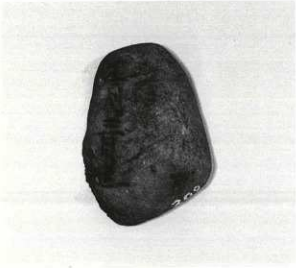
遺物番号24　4

遺物番号31　5

遺物番号31　6

図版6　礫石経墨書(2)

遺物番号200　1



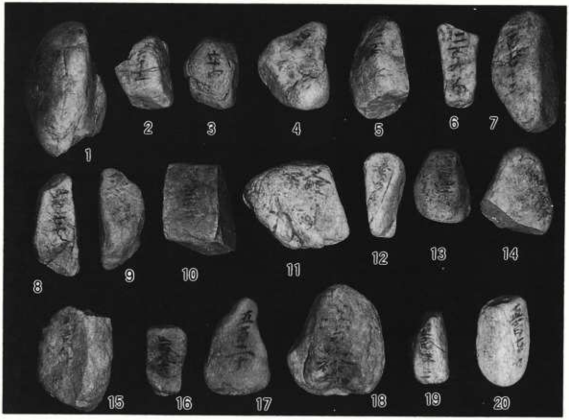
遺物番号209　2

遺物番号228　3

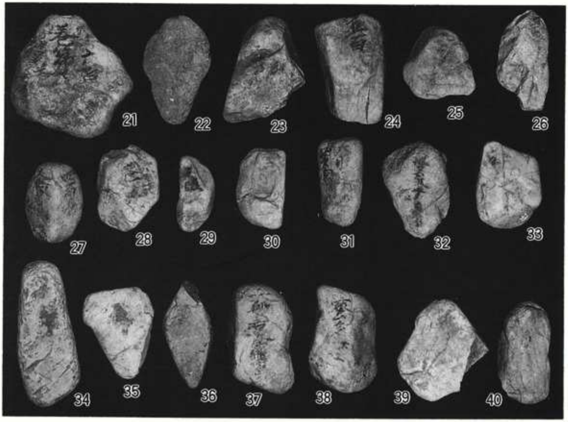
遺物番号228　4

遺物番号228　5

図版 9　礫石経墨書(5)

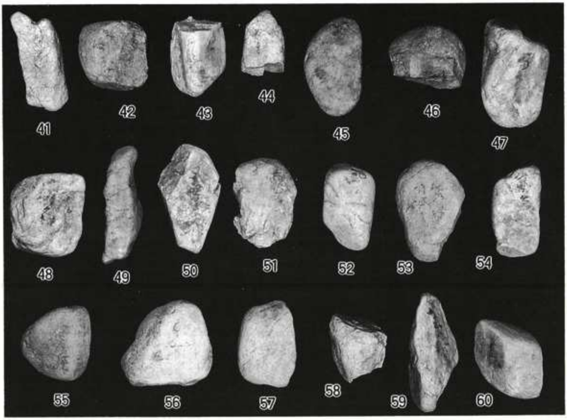

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20

1

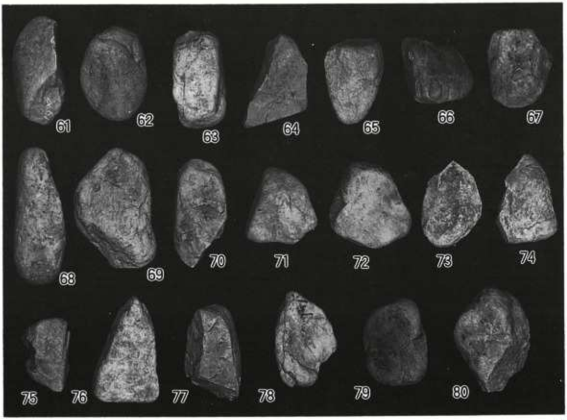

21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40

2

図版10　礫石(1)

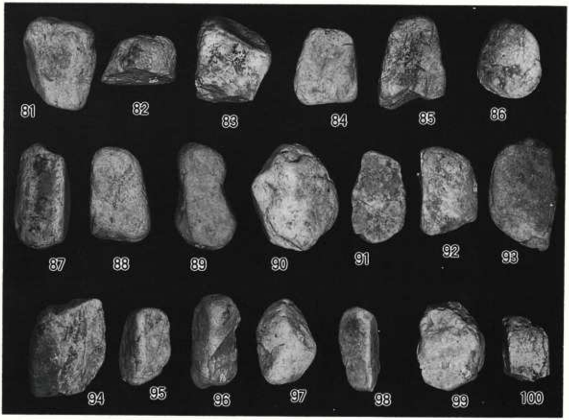

41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60

1

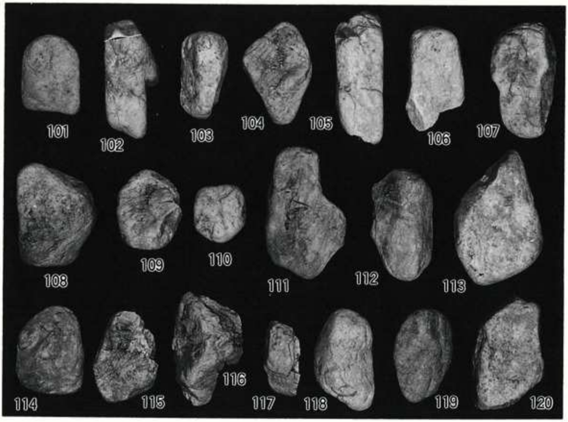

61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80

2

図版11　礫石(2)

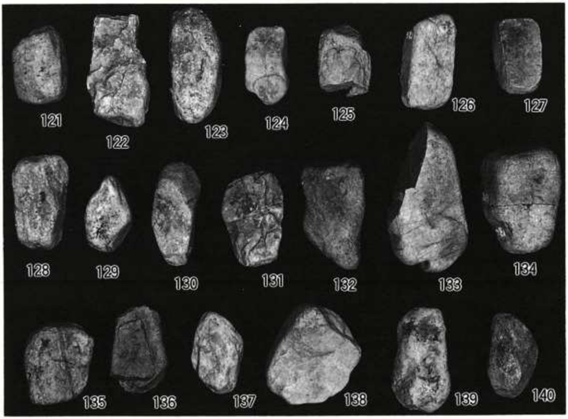

81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

1

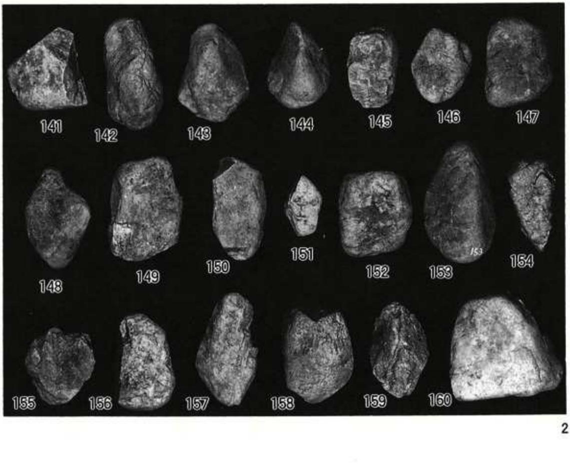

101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120

2

図版12　礫石(3)

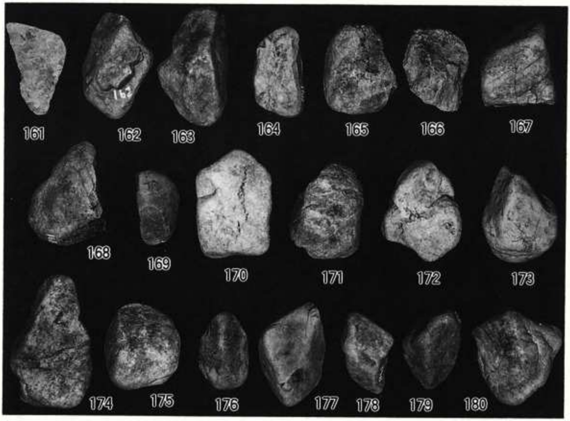

121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140

1

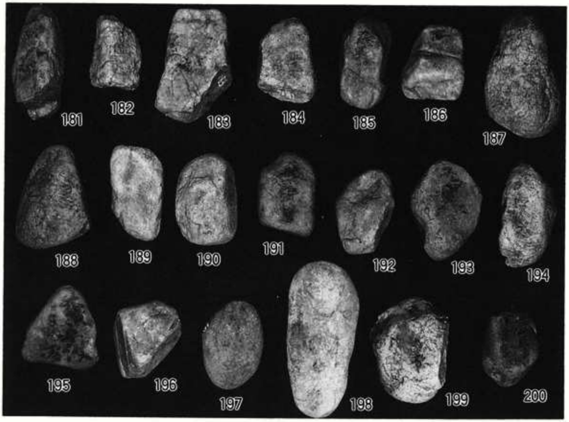

141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160

2

図版13　礫石(4)

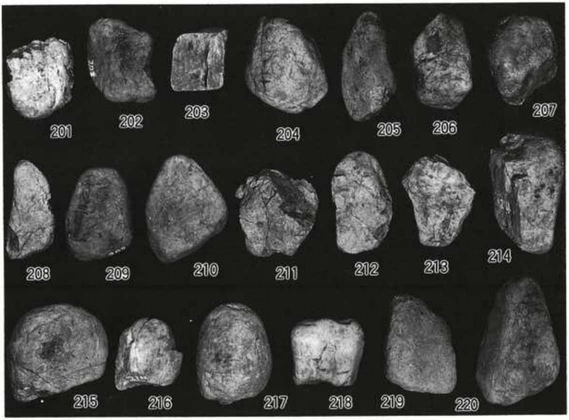

161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180

1

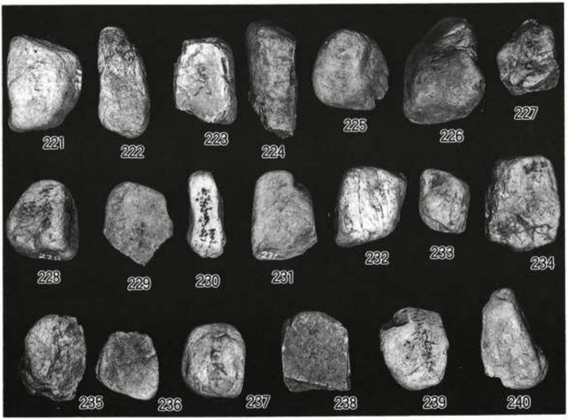

181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200

2

図版14　礫石(5)

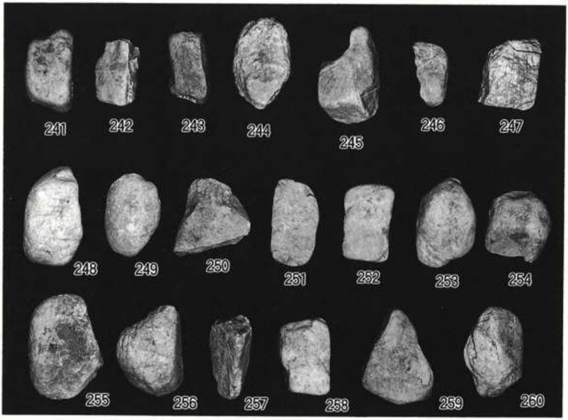

201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220

1

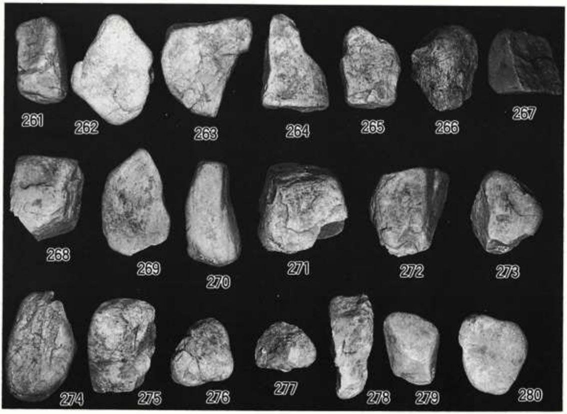

221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240

2

図版15　礫石(6)

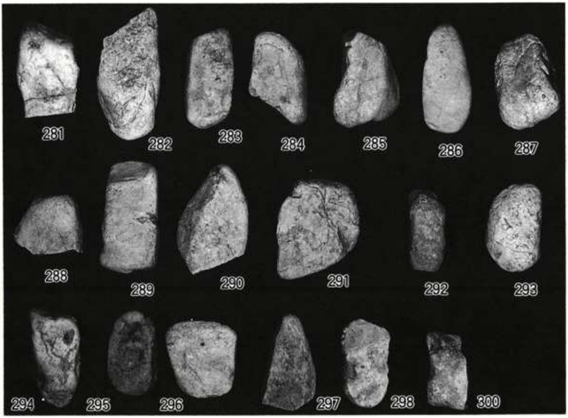

241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260

1

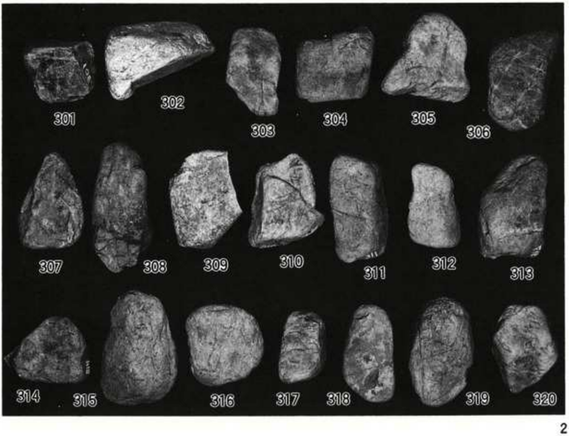

261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280

2

図版16　礫石(7)

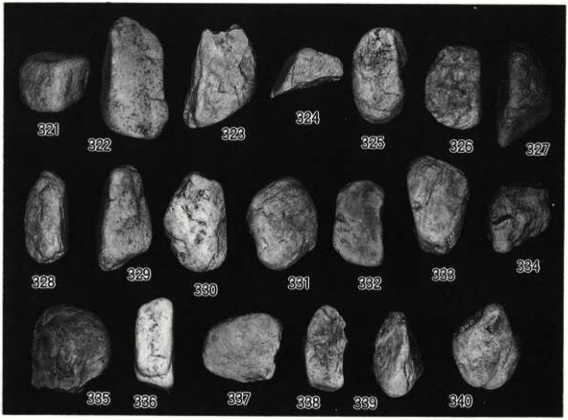

281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
300

1

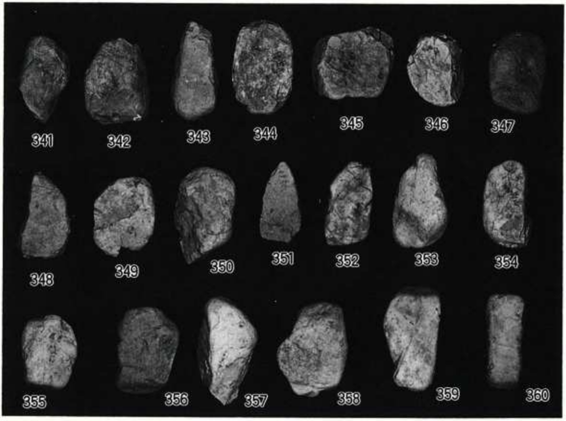

301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
320

2

図版17　礫石(8)

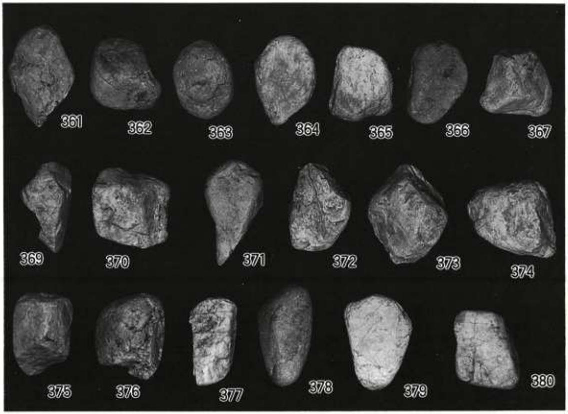

321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340

1

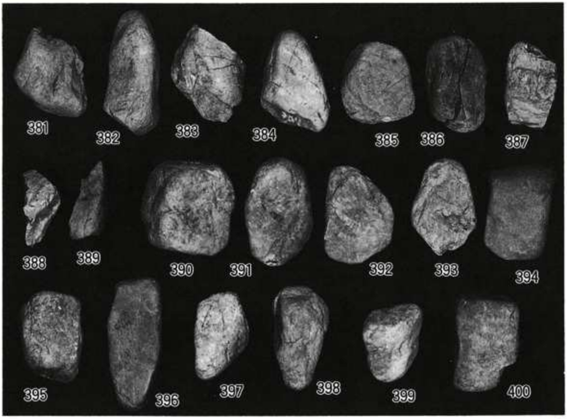

341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360

2

図版18　礫石(9)

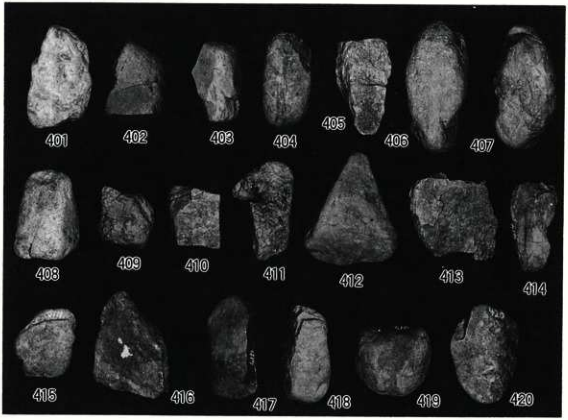

361
362
363
364
365
366
367
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380

1

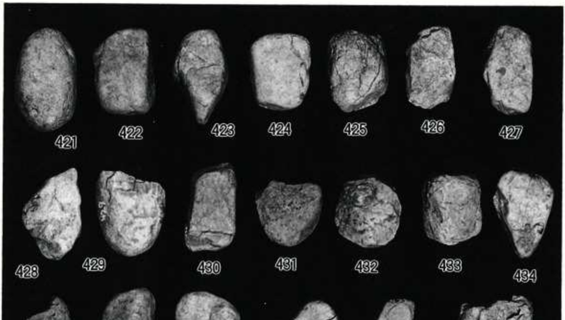

381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400

2

図版19　礫石⑽

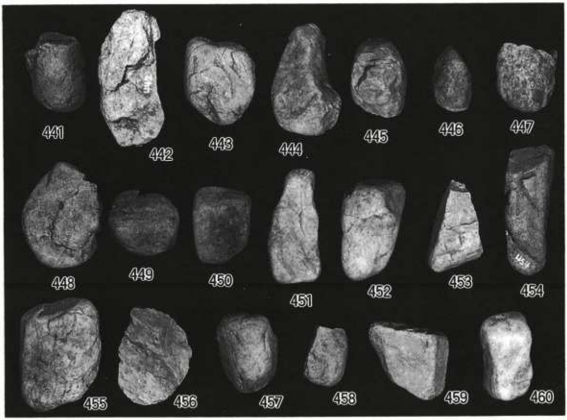

401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420

1

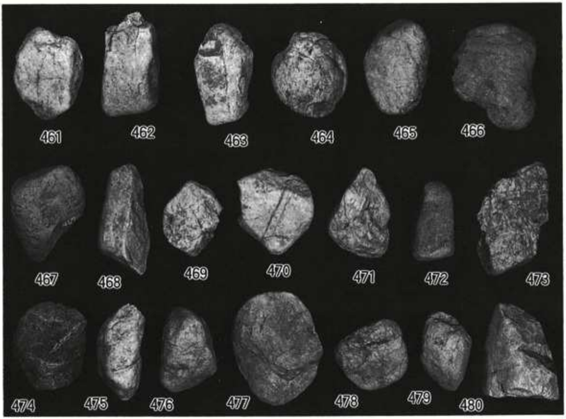

421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440

2

図版20　礫石(11)

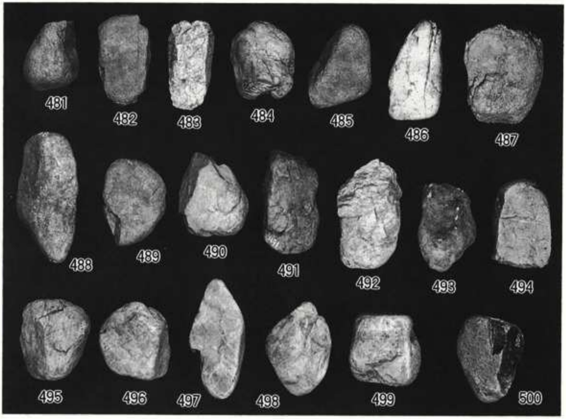

441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460

1

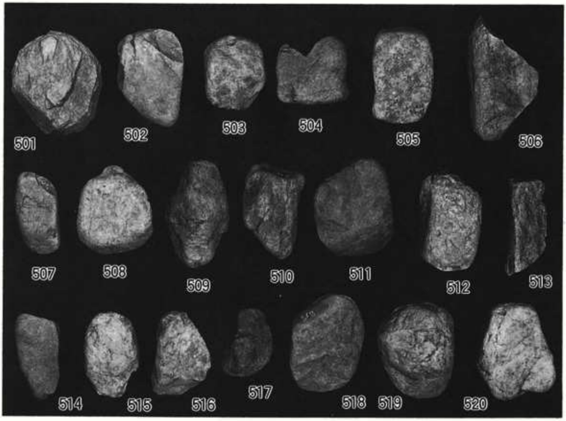

461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480

2

図版21　礫石⑿

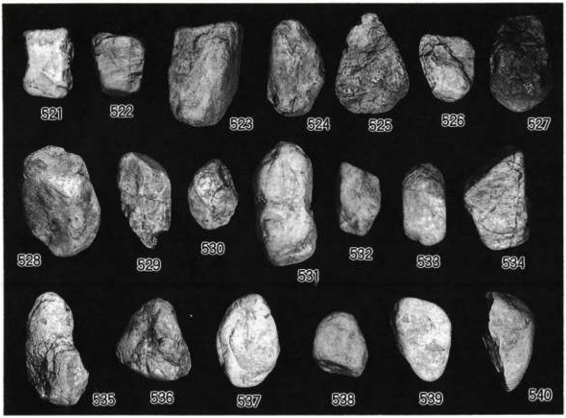

481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500

1

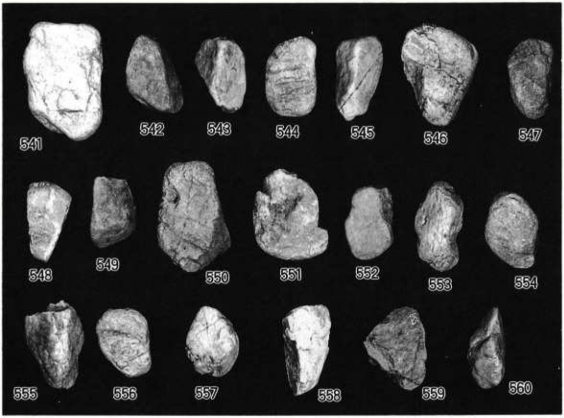

501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520

2

図版22　礫石(13)

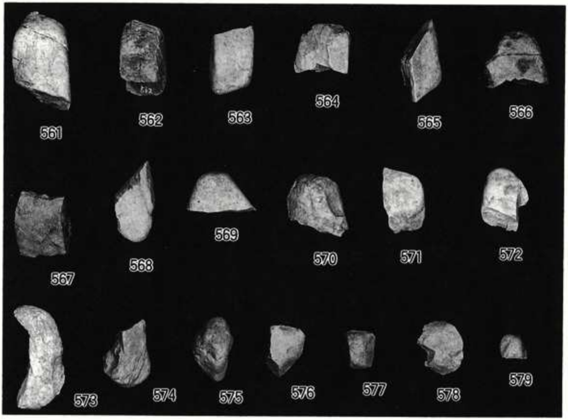

521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540

1


541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560

2

図版23　礫石(14)



1

遺物番号299 2

遺物番号368 3

図版24 礫石(15)

報告書抄録

ふりがな	えんつうじきょうづか							
書名	円通寺経塚							
副書名	第二東海自動車道建設工事に伴う埋蔵文化財立会調査報告							
巻次								
シリーズ名	大府市文化財調査報告書							
シリーズ番号	第３集							
編著者名	古田功治							
編集機関	愛知県大府市教育委員会							
所在地	〒474　愛知県大府市中央町五丁目７０番地							
発行年月日	西暦　1997年３月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 名所在	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
えんつうじきょうづか 円通寺経塚	おおぶし 大府市 きょうわまち 共和町 こぼとけ 小仏	232238	44083	35度 02分 37秒	136度 56分 35秒	19941104	12.25㎡	高速道路建設にともなう立会調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
円通寺経塚	その他	江戸中期 享和５年	経碑 礫石経の埋納穴	礫石経	経碑からやや離れた位置に経塚があり、そこから大量の石が出土した。石の中には墨書があり、内容から大般若経の経典１巻づつにみたてた記載がされていた。

大府市文化財調査報告書　第３集

円通寺経塚

～第二東海自動車道建設工事に伴う埋蔵文化財立会調査報告～

平成９年３月３１日　発行

発行　愛知県大府市教育委員会
住所　〒474 愛知県大府市中央町五丁目７０番地
印刷　株式会社 カミテツインサツ